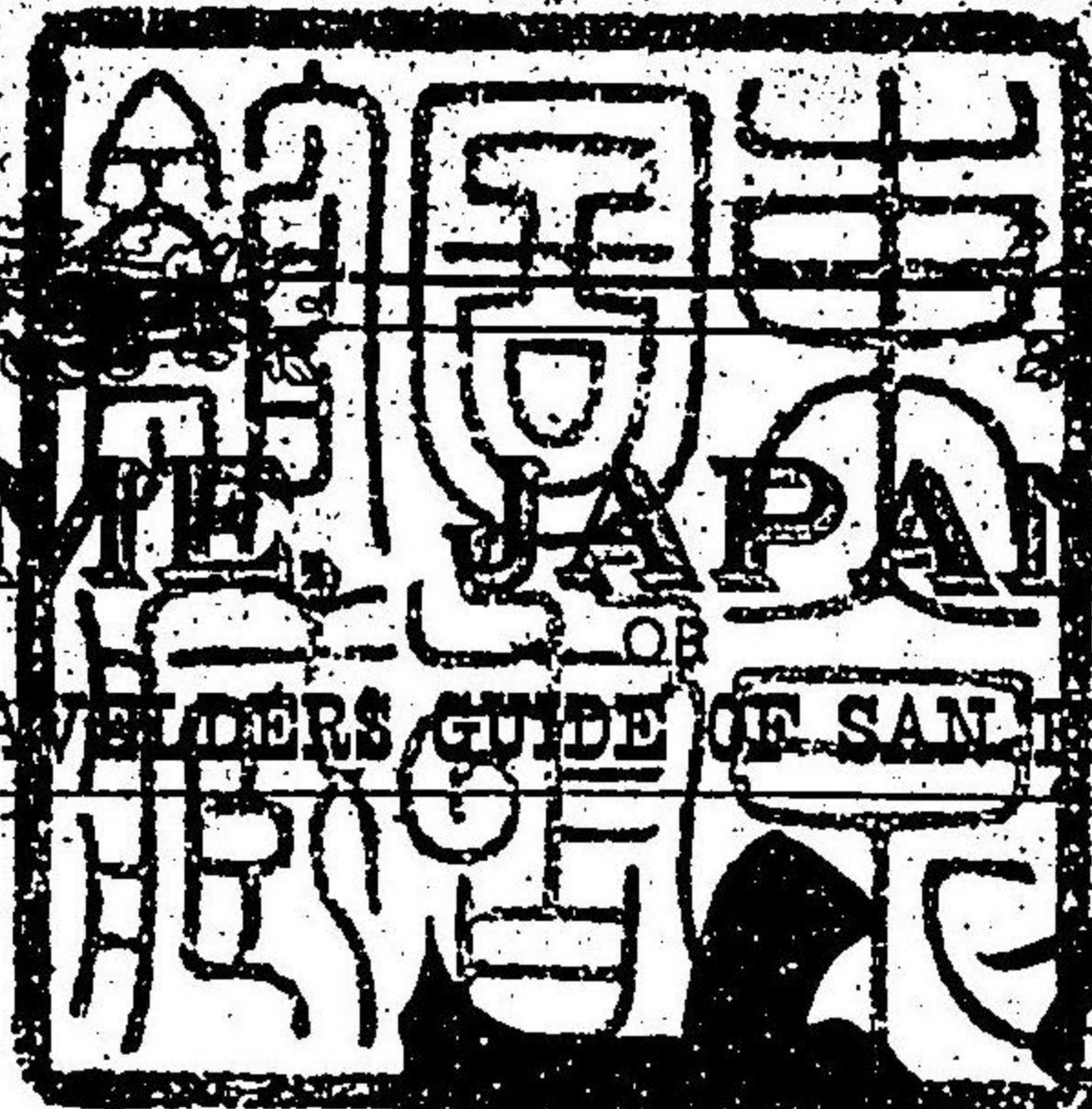


32-10

33-267



COME, JAPANESE!

TRAVELERS GUIDE OF SAN FRANCISCO.

米國桑港寓園遊散人原著

東京石田隈治郎編輯

東京

一名桑港旅案内

開新堂發行

完

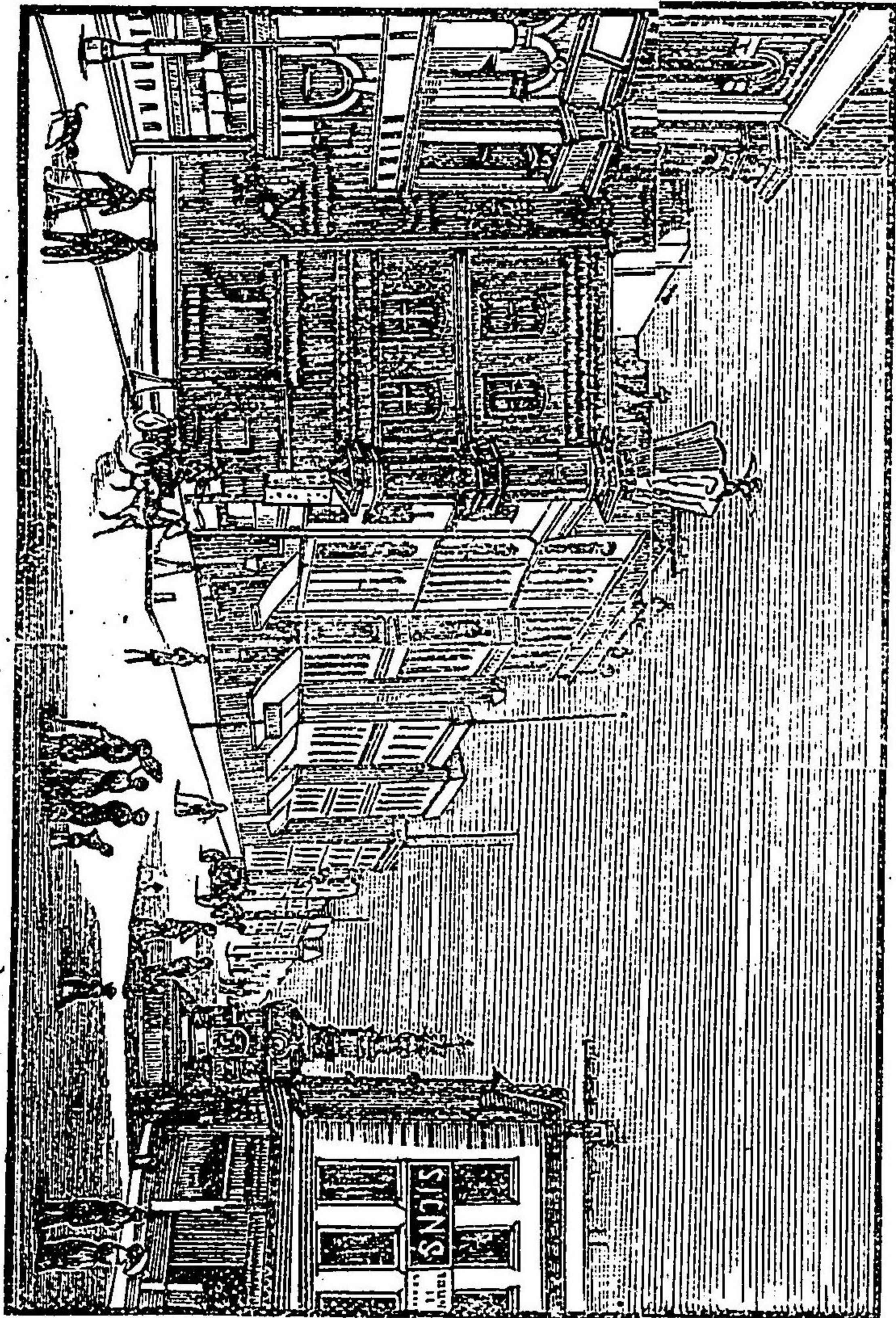
一

夜

一

同

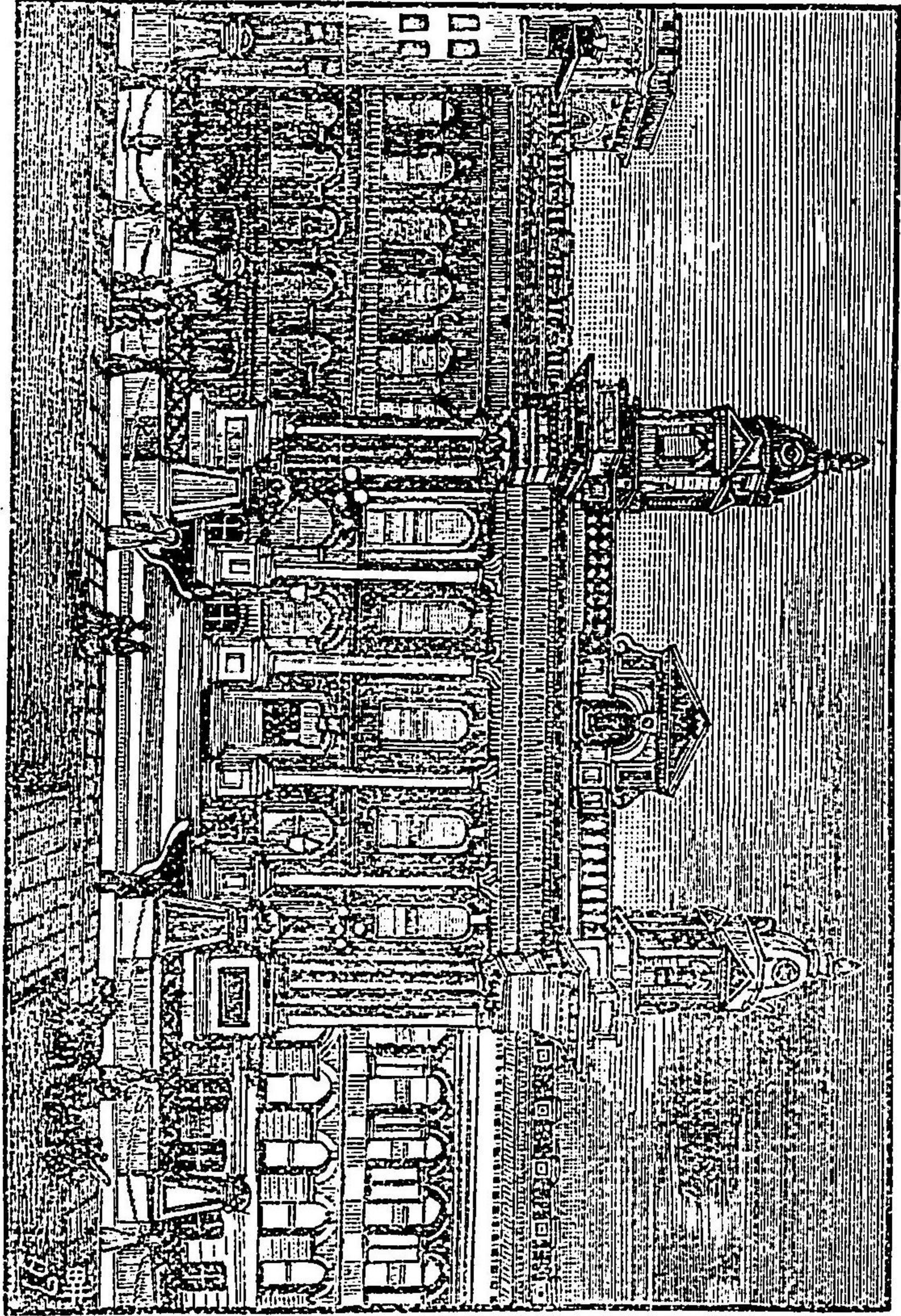
此



1000

गुरुदेव

॥ ॥ ॥



原序

來レ我カ三千七百有餘萬ノ兄弟姉妹ヨ今ヤ我邦文化驕  
ヤトシテ歐米ノ實利ヲ取ルニ汲々タリ此時ニ當リテ豈  
ニ一小天地ニ戀ヤトシテ獨リ我邦ノ貧弱ヲ歎シ歐米ノ  
富强ヲ羨ムコトヲセンヤ來レ我カ三千七百有餘萬ノ兄弟  
姉妹ヨ人間ハ活動物ナリ何ソ必シモ一國一州ニ生死シ  
テ以テ愛國忠君ノ者トナサンヤ夫レ歐米ノ人ハ萬里ノ  
波濤ヲ厭ハス商業ニ農業ニ牧畜ニ從事シテ其國ノ富强  
其ノ身ノ尊榮ヲ圖ルニ非ラスヤ我邦ノ人ハ則チ然ラス  
足戸庭ヲ出テス座シテ以テ巨利ヲ攫取セント欲ス焉ン  
ソ其身ノ尊榮ヲ享クルコトヲ得ンヤ又況ンヤ其國ノ富强

ヲ致スコトヲ得ンヤ嗚呼歐米ノ富強ナル所以ト我邦ノ貧弱ナル所以トハ蓋シ此ニアルカ來レ我カ三千七百有餘萬ノ兄弟姉妹ヨ我邦大臣議官ノ職貴ハ則チ貴矣三井鴻ノ池ノ産富ハ則チ富矣而シテ之ヲ歐米ノ富貴者流ニ比スレハ何ソ啻ニ滄海ノ一粟九牛ノ一毛ノミナランヤ苟モ我邦大臣議官ノ貴望ムニ足ラス三井鴻ノ池ノ富羨ムニ足ラサルコトヲ知ラハ蓋シソ發憤興起シテ歐米人ト鹿ヲ中原ニ爭ハサルヤ試ニ眼ヲ轉シテ歐米人ヲ看ヨ其富豪ナルモノハ出ツルニ駟馬アリ入リテハ則チ食前方丈侍妾數百人アリ夏ハアイスニ暑ヲ避ケ冬ハストーブニ寒ヲ護ス而シテ其ノ此ニ至ル所以ノ者ヲ察スレハ何ソ

圖ラン昨日マテハ囊中無一物ノ素貧生ナラントハ今日歐米ノ富豪者ト稱スルモノハ徒ニ祖先傳來ノ遺産ヲ守リ以テ一國一州ニ棲息シテ生ヲ無聲無臭ノ中ニ終ル者ノ比ニアラス來レ我カ三千七百有餘萬ノ兄弟姉妹ヨ諸君ハ蓋シソ銳意商業ニ農業ニ牧畜ニ從事シテ世界ノ豪家ト稱セラレ以テ人事ノ快樂ヲ欲セサルヤ人生僅ニ五十年徒ラニ日本ノ不景氣挽回ヲ來年來年又來年ト欠伸ヲ忍ヒテ待ツ間ニハ何レノ日カ頭上白雪ヲ戴キ復々興業ノ氣力ナク遂ニ空シク此ノ愉快ナル世ノ中ヲ不平無聊ニ過サンノミ人々皆然ラハ國家ノ元氣ハ果シテ隆盛ナルヘキカ思ヒテ此ニ至レハ潛然トシテ衣襟ノ濕フヲ知

ラサルナリ豈國家ノ爲メニ悲マサルヘケンヤ夫レ舵ナ  
キ孤舟ノ海上ニ漂ヘル如キ國民ヲ獎勵シテ之レニ經國  
ノ方針ヲ示スハ經世家ノ當サニ務ムヘキノ急タリ來レ  
我カ三千七百有餘萬ノ兄弟姉妹ヨ諸君カ今日内地ニア  
リテ互ニ不景氣ノ頭痛ニ困難センヨリハ寧ロ斷然意ヲ  
決シテ海外行ヲ企ツ可シ海外行ノ利益ハ今更言フ迄モ  
ナキ事ナカラ今日日本ノ一小天地ニ局促トシテ爲ス可  
キノ業ナキニ落膽センヨリハ寧ロ我邦ヨリ勞銀ノ高貴  
ナル歐米ノ文明世界ニ移住シテ一事業ニ就キ專心ニ刻  
苦シテ五年十年滯留セハ衣錦歸郷ノ榮ヲ得ル蓋シ難キ  
ニアラサルナリ諸君カ今日ノ不景氣ヲ嘆スルハ諸君カ

進ンテ海外行ヲ企テサルノ罪ニ坐スルモノニシテ世ノ  
所謂自業自得トコソイフヘケレ到ル處ノ世界甚々廣シ  
就中方今文明ノ中心トスル所ハ米國ナリ米國ハ新開ノ  
土地ニシテ未開ノ原野尙ホ廣ク爲ス可キノ事業ハ西ニ  
東ニ相望ミテ志士ノ來ルヲ待ツカ如シ來レ我カ三千七  
百有餘萬ノ兄弟姉妹ヨ到ル處ノ青山以テ我骨ヲ埋ムヘ  
シ何ソ墳墓ノ地ニ戀ヤトシテ遠大ノ目的ヲ計ラサル諸  
君カ米國ニ渡來セントセハ米國中更ニ第二ノ新日本ヲ  
創造スルノ覺悟ナカルヘカラス此覺悟ハ諸君ヲシテ他  
日白哲人ト對等ノ權力ヲ有シ彼等ヲシテ日本人ノ輕侮  
スヘカラサルヲ知ラシムルノ愉快アルノミナラス我カ

日本政府人民ノ名譽公益タルハ疑モナキ事實ナリ余輩斯ク我カ同胞人ノ渡來ヲ獎勵シテ狂セルカ如キハ我カ三千七百有餘萬ノ兄弟姉妹ヲ愛スルノ衷情止メント欲スルモ止ムル能ハサルニ由テナリ且ツ本篇ノ著者タル余ハ久シク北米合衆國ニアリテ親シク當國ノ情況ヲ視ルニ到ル處沃野千里ニシテ川水アルモ之ヲ利用スルノ人ナク漠ヤトシテ恰モ太平洋ヲ望ムカ如ク膏腴ノ土地モ空シク狐狸ノ戯場ニ放棄セラレ、有様ナリ加之日本人ノ來リ耕スニ最モ將來ニ有望ノ規則アリ左ノ如シ原來亞米利加國政府ニ於テハ米人ノ所有ニ屬セサル未開ノ土地ハ何國人ヲ問ハス下渡スニ左ノ三種ノ規則ヲ

設ケタリ

第一 ホームステッド (Homestead) 五年ノ間百六十エーカーノ地面ヲ已レノ保護ニ任セテ開墾改良ヲ加ヘ而シテ亞米利加國人トナルニ於テハ其地已レノ有ニ歸スヘシ

第二 チンバーカルチユワー (Timber Culture) 百六十エーカーノ地面ヲ持チテ八年ノ間ニ其十エーカーニ樹木ヲ繁殖セシムレハ百六十エーカーノ全地已レノ有ニ歸スヘシ

第三 プロンプトアー (Promptor) 百六十エーカーノ地面ヲ持チテ其中ニ六ヶ月間住居スルキハ其一エーカー



ルヲ二弗半ニテ亞米利加政府ヨリ買取ルヲ得ヘシ  
米國政府ハ國內ニ殖民ヲ獎勵センカ爲メニ如斯各人ニ  
向テ頗ル利益ノ規則ヲ設ケタレハ今後渡來ノ日本人ヲ  
シテ以上ノ規則ニヨリテ土地ヲ所有シ五年十年モ辛抱  
セハ身ニ一錢ノ貯モナキ貧人ト雖モ遂ニハ家ニ巨萬ノ  
財ヲ積ムコトヲ得ヘシ寶ノ山ハ四方ニ相望ミテ日本人ノ  
來リ耕スヲ待ツ來レ我カ三千七百有餘萬ノ兄弟姉妹ヨ  
何ソ躊躇シテ身ノ富貴ヲ計ルニ吝ナル實ニ嘆ス可キノ  
極ト云フ可シ余輩餘暇ニ日本ヨリ來ル新聞雜誌ヲ讀ム  
毎ニ獎勵ノ論アレハ一々記シテ之ヲ藏メタリ今之レニ  
余カ嘗テ經驗シタル所ノ米行ニ關スル數十ノ手續ヲ附

記シテ一書トシ命ケテ來レ日本人ト云フ蓋シ微意ノ存  
スル所ハ以上ノ合衆國政府殖民獎勵法ニ基キテ我カ同  
胞志士ノ渡來ヲ促カシ米國ノ或ル一部分ヲ占領シテ米  
國中ニ第二ノニューシヤパンヲ創造スルノ機會ヲ待ツ  
モノナリ否將ニ進ンテ其機運ヲ作ラントスルノ熱情溢  
レテ本篇ヲ成スモノナリ行文拙陋ニシテ觀ルニ足ラス  
ト雖モ蓋シ讀者ハ余輩愛國ノ熱情ノ行文ノ華美ニ幾倍  
スルヲ觀ルナラン今余カ内地ニ旅行ヲ試ミルニ先チテ  
之ヲ日本ニ郵送スルヲ得ルニ至レリ來レ我カ三千七百  
有餘萬ノ兄弟姉妹ヨ進ンテ米國ニ渡來シ其ノ文明ト富  
貴トヲ買ハント欲セハ須ラク一日モ早ク其覺悟ナカル

可カラス何ソ必シモ一小天地ニ區ヤトシテ徒ラニ我邦  
ノ貧弱ヲ歎シ歐米ノ富強ヲ羨マンヤ

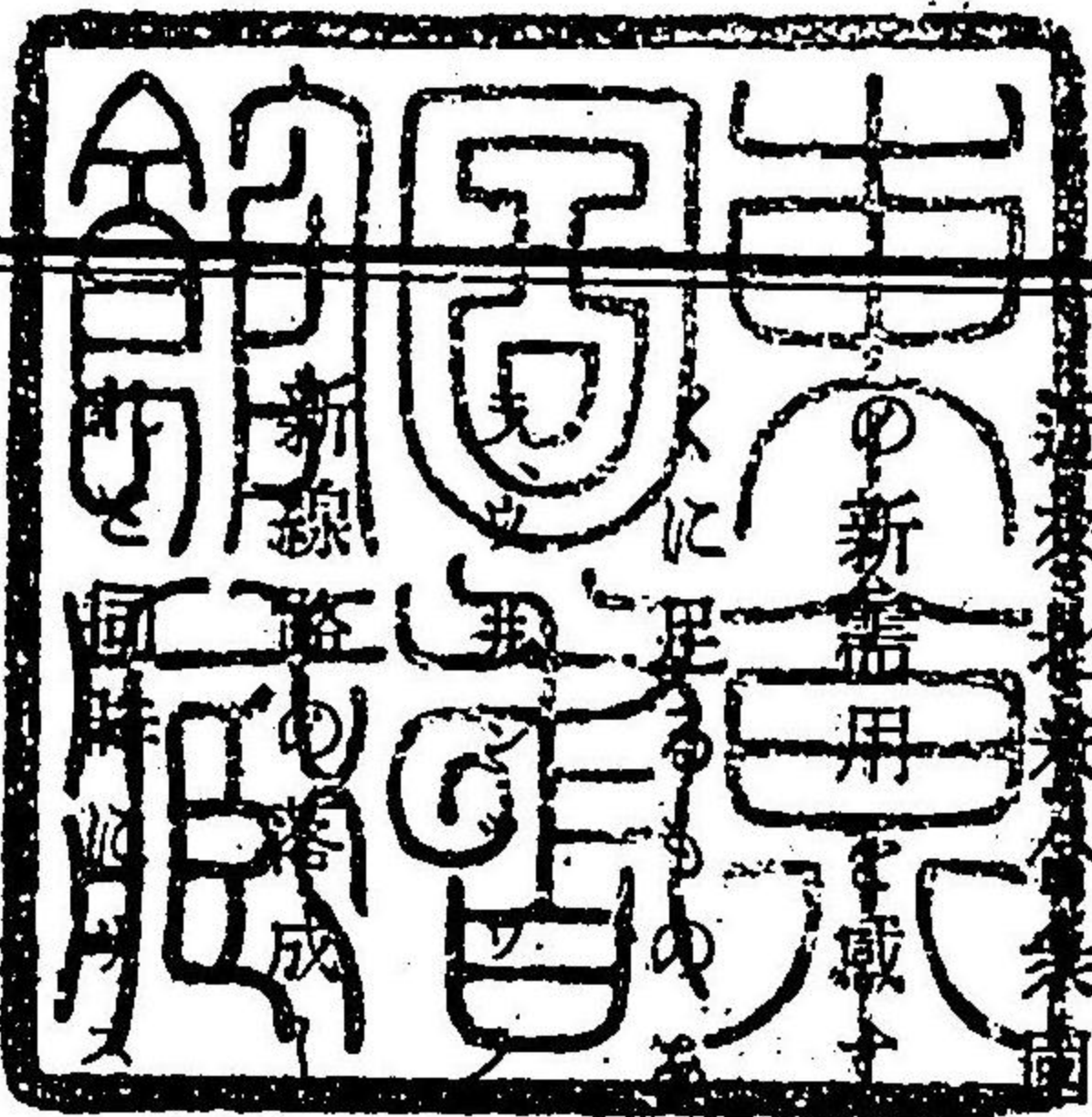
於桑港華盛頓街寓舎

一千八百八十六年十月下旬 周遊散人誌

來を日本人

東京 石田隈治郎 編輯

來を日本人



近來を來を來園に於て鐵道事業の大に進歩したるか爲めは隨て勤勞者  
の新需用を載するに至りたる次第は大に日本政府及其人民の注意を惹  
き起し現にモンゴリア、サンライズ、オピスポー、サンタバルバ  
ローニア、アングルス等の地方に於てはソレデイトよりの  
たるか爲めに數百萬エーカーの美田を得るに至り又之  
を、シスキオン地方もカリホルニア及オレゴン線路ノ竣  
功に由て其地に産する木材を他方に運送するの便を得たり然るにかく  
の如く土地物産の開くるに隨ひて茲に一の困難と云ふは勞役者の不足  
なる一事なり之れか不足を供給するは支那人の勤勞こそ適當のものな

るに何故か兎角米國人は支那人を忌み嫌ひて之を逐斥するに至れり今日本人か之れに代りて其需用を充たす可きや否は日本人の宜しく熟慮す可き所なり今日の所にては米國人は毫も日本人を忌嫌するの偏頗心なしと雖とも逐々其數加りて一ヶ月に千人も二千人も渡航するやうにならば恐らくは亦支那人の如く忌み嫌はるゝに至らん然れども日本人は支那人の如く執拗ならずして能く俗と與に推遷る性質を有し米國の衣服を着け米國の食物を食し日常生活の事亦皆米國風に從ひて吝かならざれば固より支那人と日を同うして語る可からず且日本人は勉強正直節儉、伶俐の好評あり果して然らんにはこの新開の土地に取ての珍客と謂ふ可し近年日本人の布哇に移住する事實と先頃メー、ル新聞の報したる日本國內の不景氣の状況とによりて觀察を下すに數十萬の日本人を米國內に移住せしめなは外に移る者の幸福は勿論内に留る者も亦

爲めに利益を得て實に一舉兩得の策と謂ふ可きなり

### 日本の有力者に望む

近來日本人か海外旅行を企つる者著く増加したる様なれども兎角出發の際に思ひ込みたる奮發心は渡航の後に早くも消滅し案外に不活潑なるは大和魂とかを有する人種には不似合のともなり故に渡航人中動もそれは饑餓に迫るの人を出すともあれとも若し耐忍力と勇氣とを鼓舞し奮て實業に就くに至らば此實業の頻繁にして且つ遺利多き米國には斯る心配は無用のものなるのみならず幾万人の日本人か移住し來りても之を容るゝに充分の餘地ありといふべし唯希ふ所は今より日本の有力者か率先して若干の資金を此國の内地に卸し日本人を集めて村落を設け開拓に従事し着々發達進歩して遂には米國の一部分を占領するに至らば漸次日本人の衣食の道を開き且つ一際日本人の價格を顯はし米

國人をして日本人と支那人とを同一視せざらむるをも甚た容易なる可いと信するなり

米國桑港通信雜誌記者は其第三號紙上に於て日本貧生の米國行は其利害如何と題して實に左の言をなせり

千畝の田禾稼の生するあれば秀隨て之を生す天下の事亦太た之に似たり物は類を以て聚り結合の勢力其力以て天下を動す可く而して弊害も亦隨て生す是れ理の然る所にして蓋し怪むに足らず近來日本貧生にして米國桑港の地に渡航するもの甚た少からず彼是の利益は言を待たずして明なり然るに其人員の増殖するに隨て弊害を生し爲めに經世家をして杞憂を抱かむる者なきにもあらず今其一二を擧れば日本の青年輩か彼地に渡航するは學問修業の爲めにはあらず唯に丁年に適する者の徴兵を免れんか爲に狡猾手段を逞うして之を避くるの一方たるに

過ぎす或は學問修業を目的とする者と雖とも赤貧空囊の身辛うして太平洋渡航の船賃さへも覺束なく輕々に旅装して彼地に上陸し身の方角を定めんとして之を求むるに急なり之を求めて得されは恰も喪家の狗のごとく街頭に迷ふの外なく或は纒に其便を得て人家に身を寄するか或は工場に雇はるゝことあるも固より下等の職業なれば其心情も影の形に於けるか如く自ら野鄙に流れ爲に宿昔の大志を變じて唯金錢の多少を問ひ卑劣極まるに至る故に其精神とする所の學問に至ては恰も之れを幼想に歸し到底其身に益するとなし况んや邦家の鴻益を計るに於てをや又最初より下賤の輩の舉動を見るに第一英語とては甚た不通にして其胸中に改進の精神なければ面のあたり文明社會の狀況を目撃しなから自ら之を省みるとなく衣食住共に日本の下等社會の有様を直ちに海外に移して之れを外人の目下に披露するに過ぎず豈に其醜に堪ふ

可けんや是等は何れも實に日本の耻辱にして國家の体面に影響を及ぼさんこと必然なれば爾來我國人の外國渡航に就ては其制限を立て、假令全く禁止するに至らざるも願くは嚴に條目を設けられたきものなり現に米國桑港にありて困窮落魄進退維れ谷まるの境界に陥りたる書生凡う五百名許りもありと聞く豈に悲しむ可きの至りならずや然り而して米國人其人の如き至て懇篤の聞えあるも工業の餘暇を以て學問を目的とする人を雇ひて之を使役することを欲せず又自己の損害を顧みず之に學問を勸むる如き者なく故に聊か自己の裨益を求めんとすれば忽ち其身は解放となりて街頭に食を乞ひ之れか同胞に對するの面目を失す是れ實に本人の不幸なるのみならず國家の体面に關すると大なりされば相應の資産に富める少年子弟の目的を立て、洋行するは國家の爲めに賀す可き所なれども貧生の入學賤民の出稼の如きは國家の爲めに

深く憂ふべき所なれば宜しく之れを今日に戒むへし

以上述る所は所謂經世家の意見に屬し余も全く之に反對するものにあらず然れども其意見は果して内地の現情を察し能く實際に我國民の米國行の弊害を救ふに足る可きや否や是れ甚だ疑ふ所なり其説く所第一に壯輩か兵役を免るゝ爲めなりと云ふ是れ或は然らん然れども是れ人心の内部に存するを以て法律上より咎む可きにあらず徴兵を遁るゝ方法は渡米のみに限らず近く内國の公立學校に入て遁れたるものあり又之を遁れんとて他家を相續したるものあり又之を遁れしめんとて私立學校を公立の体裁に改めたるものあり是等を以て數ふれば其本人の心術は大に道義上に違背するもの甚だ少からざる可し實に今日の法律に於て之を如何とす可からず然れば我國貧生の渡米は何れの邊に其志を傾けしめ之を以て特に忽にす可からざるの弊害とするは少しく理

無きに似たりさて又貧生か資金を所持せそして妄りに渡航し進退據を失ひて街頭に迷ひ純然たる賤民か無智鄙陋の醜体を示すか如きは如何にも國家の耻辱と云ふ可し實に我國上流豪家の子弟のみ海外に出て、美衣美食して彼の國人に交際を求め日本の失敗を彼れに表するのみにして彼の財を日本に携へ歸る事は思ひも寄らざると官費の留學生或は官人の如くならば彼の國人も大に悦びて日本の面目誇るに似たり然れども内外の交通斯く容易なる十九世紀の今日に至りては外國の往來は官の専有にあらず且は多數人民の中に在て富貴貧賤は共に一時にして實際限ある可からず而して其多數人民の中には極めて無智鄙陋にして事を解せざるものもあるへく心事の高尙にして外人に愧ざるものもあるへし到底貧富智愚は人間世界に免る可からざることにして特に内國のみならず到る處皆然り争て遽に其地位を易ふ可けんや况んや近來日本

國中の商業工藝の振はざる力役の徒は年は豊かなるも兒猶餓に泣き技藝を專にする者は無事に苦む斯く人力の餘りある時に際し有餘を外に出して内部の困弊を緩むるは實に經世の旨に適ふ事ならんされは其醜体を海外に披露する云々の問題は我輩之を今日に糺さすして數年の後數万の日本人を平均して果して其醜なるや否を問はんと欲す嘗て聞く支那人は數十年來米國に出稼して遂に米人の嫌惡する所となれりと是れ智徳の程度懸隔して深く其實を洞察せられたるに因りてなり日本人の智徳も方さに支那人と伯仲せば他日彼の輕蔑を受くると支那人に異ならざる可し是れ又是非なき次第ならずや然りと雖とも我輩今公平無私の觀察を下して日支の兩民を比較するに如何に我か下民か賤劣なりと云ふとも其大數を取て比較すれば私の心事地位は彼より數等の上

に在りと云はざる可からず是れ我輩一人の私言にあらずして日本全國

就中經世愛國家の許す所ならん然らば則ち今日我少數の人民の桑港其他の諸外國に出稼して時に或は不体裁あればとて俄に之を咎む可からず將た又眞に愛ふ可き事にあらず之を憂ふるは當さに他日に在るへ今日に在ては宜しく之を禁せずして其自由に任すへきと論を俟たす此事たるや時勢を以て之を考ふれば我國の爲めに便利なるを疑なす願くは有力者の幫助を得て非常の良法を設け有爲の青年子弟をして後來益盛大に米國其他の諸外國に渡航し第二の新日本ニュージャパンを創成するの好結果を得ば何の幸か之れに過きん是れ偏に我輩の熱望に堪へざる所なり

又同雜誌記者が其第六號に於て我國不景氣挽回の策は國民に外國行を勸むるにありと題して實に左の言を爲せり

文明の光華西風に隨て我東洋に吹き來りしより以來百事萬般の改良一にして止まず遂に明治元年の王政維新同四年の廢藩置縣に至りては其

變革尤も甚しく其事物極めて新にして實に吾人の思想外に出たり抑も此の變革の因て來る所を察するに皆是れ日本舊來の弊風を一洗し千古の汚俗を蟬脱し西洋文明開化の新風美俗を我に輸入する者たるを決して疑を容れざる所なり其事の何たるを問はず其規模の大小に係はらず一般に西洋文明開化の藝術を移して之を活用するの美たるを知り之を改良せんとを務めたり古人云く人に取て善をなすと是れ往聖の嘉する所なり幸にして我日本人は早く既に阿蘭人と貿易互市して交際を開きしより日本古來の舊習を去り文明國の新智識を輸入するに當り其倉皇の際にも西洋の藝術の我に勝される所あるを既に邦人の腦裏に感せしならん當時幕吏の嫌疑を恐れて敢て公然揚言するものなすと雖も軍事や商事や工藝や其他何事にまれ皆我より長せりとして竊に蘭人に就きて講習する者踵を接して起り唯其及ばざらんとを恐るゝ有様な

りき爲めに蘭學を學ぶもの、需用頓に増加し限りある蘭學者を以て限りなき所望者に應ずると能はず實に其期望の急なるや百般の藝術悉く西洋學者の招聘を促し世の少年子弟も立身の途を得るには必ず西洋の學術を修むるの必要なるを感せしより隨て來れば隨て聘し苟も西洋の書を読むものは公私の別なく普く之を採用して餘す所なきを以て西學の我が日本に傳播せしとは僅々十餘年間にして非常の勢力を加へたりと謂ふ可し現時の景況を以てせば十萬以上の洋學者ありて文明の機械を運轉し文明の事業を起すには此等の人を要せざるを豈に盛ならすや此を以て其一藝一能を學び得たる者は勿論苟も横文を解する者とさへ云へば皆人の貴重する所となり爲めに身を立て家を興すの道手を繚すよりも容易なりき夫れ物の供給多ければ隨て其價格を減するは經濟上自然の定則にして人間も亦此定則に漏るゝこと能はず且つ西洋の

學藝は一人又は數人の私す可きものにあらずされば國中文明の進歩と共に一日は一日よりも多數の西洋學者を輩出し今日に至りては尋常横文を解する者は勿論西洋日新の専門攻習に屬する一藝一能の心得ある者と雖とも春草秋葉と一般に看做されて全國到る處復た昔日の如く反顧せらるゝ者なく且一藝一能の心得なく横文をたに解せざるものか其所爲常に異なる所あれば却て明治年代の奇人なりと評せられて時に或は世人に賞翫せらるゝの變例なきにあらず隨て彼の春草秋葉と一般なる西洋學者の如きは曩には安座して得る所ありしも今は心神を勞し體軀を役し抜群の能力を奮ひて辛苦從事するも尙且及ばざるの恐れあり前後の懸隔實に莫大なりと謂ふ可し目下日本國內に西洋日新の學科を教授する高等學校固より其校に乏しからず六七年乃至八九年の勤勞を費して此學校を卒業する學生は毎年百を以て數ふ可きなり然るに此輩の



中にて醫學生を除くの外は大抵一身を立るの道を得ず幾年の苦學爲に貧困の憂患を買ひ終よ學成て二鳥の光榮を羨み嘆する者比々皆是れなり實よ大息の至りならずや

前陳の如き有様なれば我日本は既よ西洋の學術よ富み日新の技藝を講ずるもの斗筭管ならず全國社會よ充溢し了りて更に學者を要す可き事業なきもの、如し然れども其實は決して然らず我國文明の學藝は尙ほ幼稚にして未だ以て世界と鋒を争ふに足らず方今學者の一人も多からんとを渴望し且つ其乏しきを憂ふべき時なり如何せん社會萬般の進歩遅々として志士の望を充たすと能はず志士は日夜螢雪の勞を積みて學業を勵むも社會は臑を枕として晝寢し志士は世界の奎運の進むるを視て或は自ら及び難きを恐れ身を殺して仁を爲さんと欲するの壯圖あるも社會は目下の無事安逸を喜ひて更に進取の氣象なく世界の文明の我

を待たずして逝くを憂ひさるなり若し日本の社會にして他の文明國の例に照し人事の繁多工業の種々なること今日に幾倍するとあらんか苟も此の如くならば何う日新學藝の閑却を困まん何う志士の地位なきを嘆せん反て其日の足らざるを憂ふべきなり然れども人事容易に意の如くならざるなり志士にして若し今の日本社會の睡眠を覺破し人事の繁多工業の種々なるを他の文明諸國に譲らざるものとするの力あらんか斷して自ら奮ひて文明開化の先導者たるを辭すると勿れ今や日本の不景氣は其極點に達し社會萬般の事業は萎縮して更に振張の期なく梧葉秋聲の日に池頭春草の時を羨むに似たり此不景氣を幾年に回復して春花の榮を見る可きか天運循環艷陽の和氣に向ふは果して何れの歳にあるや前途の遠を思へば浩歎の外なきなり要するに我國の不景氣は其原因種々ある可しと雖とも余輩の所見を以てすれば人口の繁殖極め

て夥多なるに因れり人口の繁殖するに隨て窮困の苦境に陥るは日本現時の實況にして屈強の体格を有する幾百萬の壯年輩は唯手を空しくして爲す可きの事業を見出すを得ず社會は鼾睡轟々として寝ねて覺めざる有様なれば夸父の日影を逐ふと何う擇はん實に長大息の至りなり眼を轉して太平洋の彼岸を望めば廣大なる新世界あり殊に其北米合衆國は地大にして人少なく毎年歐洲人の此に移住するもの四五十万人に下らすと雖とも之れを容れて尙足るとを覺へずと盛なりと謂ふ可く夫れ然り天然豊饒の新地に生活を求めなは富を得ると際限ある可からず人民隨て富めば事業も亦隨て起るへく米國今日の狀態は人民の殷富一日は一日より多く今日は正に業多くして人足らず實に我國とは反對の有様なり此際に當りて余輩は日本の不景氣を挽回すると同時に他の一方に向て最大の幸福を與ふる手段あり即ち國民を勸奨して米國に移住

せしむるにあり而して其移住する人々は他年富と智識とを齎して日本に歸り大に同胞兄弟の爲になす事あらんとを期すへく其時日本の不景氣も早晚挽回して國富み業の盛なるに遇は、全國社會の幸福は果して如何うや何う所生の小天地ふ發居して世人と共に他の富貴を羨み牆外に立て百官の富を見て徒に糟糠に甘んずるとをせん是れ我輩か全國社會公衆の爲めに外國行を勸むるを目下必要の問題と信する所以なり

次にシノ、メニユース第十七號紙上に於て「到る處の青山以て我骨を埋む可く」と題して左の如く論じたり

到る處の青山以て我骨を埋むへく

今や東西交通の便益大に開らけ海よを汽船の便あり陸よを汽車或は郵便の利を以て音信を通するあり或は電機の以て急報を傳ふるあり數千萬里の遠きも十數日を出てすして之を見るとを得へく數千万里外に起

りとも瞬時にして之を聞くを得へし今日の外行は舊藩時代の江戸行きより容易く天涯比隣の言も初て之を實際に見るを得たり去ればにや眼中曾て自國より外に開明の國あるを知らざりし日本人も漸く目を覺まし近來此地に渡來する者日一日より多く其數既に千に垂んとするに至れり

余輩は常に海外移住者の多からんとを希望する者なれば日本人の日々に此地に増加するを見て蓋し欣悦に堪へざる者あり只如何せん日本人の思想動もすれば社會の大勢を忘却し區々たる心事に拘泥して我國現時の危急を救ひ以て將來の福利を求むるに着眼せざるを余輩時々各日本人の集會所に至り諸士の演ずる所を聞くふ言へるをあり吾人は各々其目的を成就し然る後故山に歸り盡す處あらんとすと是れ屢余輩の耳朶に觸るゝ處にして蓋し在桑港日本人の通論とも謂ふべきか其國

を愛し同胞を親むの情義に至ては固より説の間然すべきなりと雖如何してか我國の權利を振興し我民人の福運を増進し其名聲をして天下に高からしむべきやの方法要點に至ては余輩か豫て考ふる所と天淵の差あるを免れざるものあり

夫れ人間到る處青山有りとは日本男兒の常言なめらすや然るふ其實際を見れば眞に海外万里の途を遠しとせず奮然飛揚の志を抱き遍く宇内を跋渉して潤天地の下に生活を計らんと欲するもの甚た少なく偶々外航を試みるものあるも徒に歐米各國を巡遊し歸て區々の政事を行はんと欲するに止まり未だ一人の外地を占有して我國將來の爲めに大事業を企てんとする者あるを見ず大抵墳墓の地に戀々として叢爾たる一孤島恰も鼠壤蟻封の中に終焉を期する者は抑も亦何れに原因して而して然るか成程一國內の改革を計るも今日の急務なるか如くなれど之を爲

さんには先づ其最近の方法を見出すと最必要なりとす余輩熟く我國の形勢を察するに人口日月に増殖し維新前迄は三千万以内に過ぎざりも今は三千八百万の多きに至り二十三年國會開設の期には殆んど四千万以上に達せんとするの勢あり人民多くして土地狭く爲す處の事業は甚た少なくて營む所の生計彌々益々困乏に陥るのみならず恰も方尺に充たざるの田に巨万の種子を落したると一般培養不足を來たして種子の發育生長甚充分ならざると亦怪むに足らざるなり故に余輩は以爲らく今日の事之を人種改良の説に訴ふるも商法又は國權擴張の人に計るも兎に角我國の富源を開らき人民の強固を期するふは外國移住を盛にするに若くはなしと況んや對岸の米國平原曠野耕すへきの地多く起すへきの業亦少なしとせず日本不景氣の際に處して生を計るか如き困難あらざるに於てをや蓋し夥多の日本人が海外に移殖するときば其外

面は全く海外政法の下に棲息して其支配を受くるか如くなるも實際其占居する家宅地所に因て得らるゝ處の利益は即日本人の有にして云はゞ日本の國土を海外に廣めたるに相違なかるへし去らは眞に國の爲にせんと欲するものは須らく途を移住し轉じ常に海外の土地に占居して遙く其氣脈を通し外交にまれ商業にまれ大よ以て本國の聲援をなさゝるへからず加之如斯日本人の根基を海外に据置くときは日本が海外に對する關係自ら親密し其間を往來して商法を營む者も大よ増加するを得へし然れども今日の如く千に近きの日本人此地にありと雖何れも皆暫時寄寓せし体にて一人の事業を海外に企て我國の商權を擴張するものなきに於ては適々二三の奮發家が來て商事を營なまんとするも在留日本人中一人として其方便を指示し物品の捌方を周旋する者なく單に外人に依頼すれば謫計に陥るの恐あり竟に途方に迷ひ甚しき損失を蒙

らんのみ現に日本人にして僅々一二千圓の物品を持來し其賣捌方に困却して運賃の損耗をも意とせず再ひ之を日本に廻漕したるか如きは即其實證にして豈に愚か千万の至ならずや是れ固より海外の商事に習熟せざるの致す所にして其手順の拙なる誠に笑ふへいと雖若し此地に住する日本人にして商業に従事する者あらしめば此等の周旋も容易に調ふとを得へし何り此の如きの不都合を生るに至らんや

余輩又識者の喋々する生活方改良の説に就て之を考ふるに亦大に移住説の必要なるを感じ蓋し僅々數百の日本人が適々海外に歴遊し其目撃實驗したる所を贏し歸て之を全國の人民に計り俄に日本舊來の風俗習慣を去て歐米と同一の生活をなさしめんとするも中々易々の事にあらざるなり之に反して移住日本人が多く此地に繁殖するときは日本に在て曾て海外に歴遊するの心なき人々も遂には同胞を頼み知邊を便り

して自然漫遊を企つるに至り往來の繁き日本は知らず識らず歐米の風俗に化し去るを得へし我國權を擴張せんとするも亦然り有志の諸士か何程日本國內に在て嚙々嗽々するも外人に取ては則ち馬耳東風歸する所到底外人をして我國人を畏敬せしむるに足らざるなり何となれば唯一國內に限りたる舉動改革は假令其事柄の善美なるにも拘はらず聲譽を海外に轟かして外人の目を驚かし心を感じしむる丈の力を有せざればなり然れども若し日本人が海外に在て學事に商業に工藝に外人をして卷舌嘆稱せしむるに足るべき實跡を表はし及び移殖せし日本人にして或は官吏となり或は議員となり或は代言士となり大に小に其歸化せし所の國政民事に參與するに至らば我本國の聲價も從て高尚の地位に達するを得從來我を侮とりし赤髯も忽ち其形貌を改めて漆髮の日本人に接せんとす見よ世界中にて最も野蠻未開の民と稱せられし阿非利

加人すら今は米國に在て或は國會議員に列し或は博士となり或は豪商  
 となり私交上白人と格別の差異あるを見ざるふあらずや然に外遊日本  
 人中尙ほ未だ海外に在て大事業を起し以て我國名譽の爲にせんとする  
 ものあるを見ざるは抑も亦何等の欠點り身は海外にありなから尙且つ  
 漠然として此に着目せず况んや日本にあり未だ曾て外遊を企てざるの  
 人に於てをや是れ日本人か海外に在て動もすれば疎外せらるゝを免れ  
 ざる所以ふして外人と平等の交際をなす能はざる亦一として此ふ原因  
 せずんばあらしき嗚呼銳意活潑なる日本人よ何すれり來て米國の大統領  
 となり國會議員となるを望まざる何すれり來て米國の富商豪農となる  
 を望まざる到る處の青山以て我骨を埋むへし况んや森羅万象彬々然と  
 して文風の始まる處都市繁華田野沃壤農工商其業よ安んずるの地ある  
 よ於てをや富貴名譽唯其欲する處何り必ずしも故山よ眷戀して坐な

ら我國の衰頹よ赴くを見んや人或は言はん余輩の此説は輕々しく君父  
 の國を去らしむるものにして人情に近からずと然れ共余輩は信す今日  
 去て海外に移住するものは輕々しく郷國を見棄るにあらずして眞誠に  
 我國家を愛ふるものゝ所爲なるを同胞諸君願くは猛省する所あれ

男兒須らく獨立すへし

人あり後進書生の氣風柔弱にして振はざるを憂ひて曰く甚哉今時書生  
 の振はざるや其身体の薄弱にして履操の堅固ならざるは論なく第一に  
 其志甚た卑近にして遠圖なく畢生の艷慕する所は官に仕へて執金吾た  
 るに過ぎず叨りに老成の風を氣取りて徒らに空理に喋々し時としては  
 先進權貴の門に候し巧言令色只管一顧を忝うせんを希ひ其舉措恰も  
 幫間者流の如し幸に地位を得て囊中少しく餘裕を生ずれば忽ち花に歌  
 ひ月に吟して婦人女子に驕らんとす何う志の卑近なるや今の書生の氣

風如何は後來日本社會の進歩に關する所少なからざるか故に宜しく其柔弱卑劣なる弊風を一洗し廉耻を貴ひ名節を重んずる意氣を養成せざるへからずとて頻りに慷慨歎息せり我輩も今の書生の氣風の柔弱なるを慨歎するの一段は此説と同感なるのみならず寧ろ之を悲むこと一層深きものなれども名節廉耻云々など古代の筆法を以て今の書生の宿弊を回復せんとするの策に至ては之に同意を表すると能はざるなり昔し封建の世に戰國の餘習尙ほ存し在上の人は士に下るとて己れの高きを屈して民間の人材を愛敬し以て愛士の名を得んと務めたる時代に於ては士も亦舉措を非凡にして一世を蔑視し蓬頭粗服王公と並ひ立つを耻とせず時に或は貳を捫て貴人の前に談笑する等の事も却て世上の爲に珍重せられて高節清廉などの美稱を博し一方に愛士の名あれば一方に高潔の稱あり表面より之を觀るときは甚た立派なるか如くなりしと雖

文化漸く進歩して人事の關係愈繁く往來交際世界の廣きに亘る今日に當ては社會の組織上に於て逆も斯る粗暴野鄙なる行爲を許すへきよしあらず畢竟この説の如きは今の書生の柔弱なる有様に對する一幅の圖畫として見るへきものにて到底實際に行はれざるものと知るへし抑も今の書生か其志卑近にして氣概の振はざるは原來一身の獨立せざるか爲なれば之を醫する方法は其をして獨立せしむるの外あるへからず目下日本の社會には民間の事業甚た少なくして書を讀み字を識るもの、差當り手寄るへき道は官途の外に多からずとするも既に其志を獨立と決するときは何事か成らざらん國內果して事業よ乏しきか宜しく去て外國に行くへし世界へ甚た廣し何くも往くとして一身を容るゝの地なからん況んや北米合衆國の如きは地廣く業多く恰も門を開て人の來るを待つ者なり何り往て富貴を謀らざる今や叢爾たる日本の小社

會よて限りなき人を以て限りある業を求む、たとひ僥倖にして百中一の其志を得る者あるも、僥倖は即ち僥倖にして其數に限りあれば他の九十人は到底満足を得ざるとならん、されは國內に在て望むへからざるの僥倖を得んと欲し得る能はざるに失望せんよりは、何う大に進て安心の地位を國外に求めざる日本の國內狭小にして事業甚た少なりと雖も一たひ足を國外に投せば世界到る處自由安樂の郷あり、功名富貴何を欲してか成らざらん、勤勉十年功成り名遂るの曉は悠々餘生を海外自由の郷よ樂むも可なり、或は衣錦國よ歸り故郷の父老よ誇るも亦一興あらん男兒何う局促として久しく無聊無事の小天地よ蟄伏し強て婦女子の態を學んで世に容らるゝ事を求むへけんや、須らく去て自由の天地よ雄飛し以て一身獨立の計をなすへきなり、世人もし今の書生の柔弱ふして振はざるを嘆せば、廉耻名節云々の迂説を談するを止め、何う大ふ之を鼓舞し

て一身獨立の計をなさしめざる我輩は、今の獨立の計として先づ海外雄飛策を献するものなり、來れや日本商人米國は實に人界の天堂よして世界第一の金穴なり、金銀珠玉は道路よ散亂せり、之を取るよ方法を以てすれば一朝よして千百萬弗の富を積み、人事無上の快樂を得へし來れや、日本職工米國は賃銀貴くして彫刻師、塗物師、大工、經師職等、其他苟も日本美術ふ巧なる者は、扇子を貼り、陶器を焼き、器物を塗るも大金を得へし來れや、書生晝間は労働ふ從事し、夜間は充分夜學校ふ通學するの餘暇あるへし、二三年も辛抱して學資を得ば、大學校を卒業せんと欲するも難からず、當國は一体ふ勞銀の貴き土地柄故、勞力一派ふて活計を立てんとするも難からず、一廉の面白き商法もあらん、予の考案は何んでも角ても少しく財産智識のある人は、其農たり商たるふ關はらず、一日も早く當國自由文明の空氣を呼吸せば、大に得る所あるへしと信するなり



桑港の日本人

桑港に於て日本人の出現及共進歩の略話

當港に於て職業又は樂みの爲めにあらゆる種々の人又ハ種々の有様の人民に接する所の人々の説ふ僅か數年前までは全く我々と無縁なりし人種にして今は我々の國ふ來り我々と共ふこの國ふ住居するもの多人數ありとの事ハ屢は聞く所の話なりきこの人種は即ち日本人ふして日本は我々ふ極近き西隣の國なりこの國の美術は我々の家の飾りとなりこの國の少年は我々の學校ふ來り學ひ今は我々の重なる街路を遊歩すれば何れの處ふてもミカドの臣下ある薄鶯色の人々ふ逢はさるはありの人々は頂骨の短く丸きと目の斜あると頬骨の秀てたると毛の赤黒きと髭の薄きとふよりて容易く識別せざるを得へし日本帝國の成立せる群島はこの人種の棲む所ふして一寸見ざる所にてはるの形並に外相

は大に支那人に類するの目は支那人と同様ふ殆んど斜ふ付たれども鼻ふ近き處は支那人よりも廣く又毛色は支那人の如く總黒ふあらずして深鶯色ふ藍色を交へたり日本人はその國及其國か文明よ長足の進歩をおしたる事を誇り支那帝國の如き開化ふ後れたる人民の中ふ數へらるゝか如きは最も日本人の憤る所なり

日本人の勉強

始めて桑港ふ住居したる日本人は千八百七十年布哇國より移住したる人々ふて十一人ふ過ぎず其後千八百八十年まではその數左まで多かふさりしかこの年ふ至り桑港よ移住したる日本人の數は二百人ふ及ひたりこの數は日本領事藤井三郎氏の調へふ係るものふて同氏の調ふよれば千八百八十四年の末ふは二百九十七人ふ至り昨年終りふは五百五十七人ふ達したりといふ當地在留の日本人中ふ最もよく名を知られた

る某氏の云ふ處ふよれば現今桑港又はその近傍に住居する日本人は八百人少く餘りあるへしといふ其中四十餘人は婦人にして又其中婚姻したるものは殆んど二十人なるへし一夫婦は桑港に於て洗濯の業を営み又一夫婦はオークランドに於て飲食店を支配しその子女は何れも當府の公立學校に通學せり或る二人の妻女はサンホオノサなる大平洋大學校に入りて勉強し園氏と呼ぶ令嬢も同校に於て法律を研究中なるか園嬢は卒業の後は歸國して代言の試験を受け男子と同様代言に從事する見込なるよし又夫は料理番又は掃除番をなし妻は下婢の役をなすものありその中七人の女は娼妓をなし居れり當府中に於て小店を開きて商賣をなす日本人五六人あり近來當地に來りたる日本人の過半は年齢十五より二十五の間にして大抵は中等社會小商人百姓等の子弟なり不充分ながらも日本にては強迫教育法の行はるゝを以てこの人々は何れも

本國にて多少教育を受けたるものありその目的は當地に於て英語を勉強し兼て白色人の習慣風俗を學びたる後本國に歸りて好き地位を得んとするにあり又今一の理由は恐らく徴兵令の爲に勉強を妨られ且兵役は自身好まざるの業を以ての故ならん

日○本○人○生○活○乃○摸○樣○

桑港に來る日本少年の第一の目的は學問を勉強する間に一身を支ゆる丈の職業を得んとするにありて最初の内は何れも家僕に役を執り日中又は夜間若干時間此暇を得て學校に通學する外別に主人より報酬を得るはずかくて一年も立ちたる後は一周間一弗半乃至二弗の給金を得るは通例とせり凡る百五十人計り乃少年はこの法にて日々教會に學校に通學し居れり尤も正則に公立學校に入りて勉強するも此も當地及びオークランドにて四十名計ありと聞けり又リンコルン文法學校にあるも此

十二人餘、同高等學校にあるも乃三人、ホプキンスの中學校にあるもの三人、州立大學校にあるもの三人あり是等の人々は何れも夫々の仕事をなして朝もしくは夕の時間を主人より貰ひ忙かき中に勉強するものなるか中には國許兩親よりの仕送りにて不自由なく勉強するものもあり右等の少年中には學藝の卓越したるもの少なからずリンコン學校にある書生中には東京大學の得業生一人あり又教會學校にあるもの中には華族の子弟數名ありさてその宗教の一點に至てはうの中の若干名は耶蘇宗に入りたるものあり又佛教の信徒もあれと過半は所謂無宗教家にして當地ふ於て一間の教會堂も設けねは又一人の僧侶もな御身等は未來の冥罰を怖ろしく思ひ給はずやと問へは彼等は去り氣なく地獄の沙汰も金次第と答へ丸て平氣なる様子なりこの語は日本古來よりの諺なりと云ふ又本社の通信員か日本婦人の餘り當地よ來らぬは何故

かと問ひたるよ一人の男は婦人の少なきころ最も好む處なれ婦人か三寸の長舌は以て六尺の男兒を殺すに足るへいと答へたり今日まで日本人の歸化したる者は二人に過ぎされともうの資格を備ふるに至らば即刻にも歸化せんと願ひ居る者其數少なからず近來は東洋より郵船の度毎に日本人の渡來するもの次第に多くなれりされは向後日本人か真正の米國市民となり地方政治の上に勢力を得るに至るもさまた遠からざるへと思はるゝなり

## 渡航の心得

○商用や修業や其他の諸事用向にて日本より外國に渡航せんとする者は總て海外旅行券の下附を地方廳へ出願して其下附を待ち之を所持して乗船せざる可からず若し乗船の際火急にして旅行券の下附を出願するの暇なきものは無届にて渡航し着後當地の日本領事館に出願して新

に旅券の下附を請ふ者あれども日本にて其下附を願ふ時は五十錢にし  
て着後當地の領事館より下附せらるゝ時は二弗なり  
右出願の書式及區戸長へ宛差出す可き旅行届は左の如し

旅行御届

府下何國何郡

身分 何

誰

私儀學術修業ノ爲メ何年何月何日發ノ汽船何號ニ乗込何國何府ニ  
何ヶ年間旅行仕候尤留主中一般ノ事務ハ何町何番地何某ヲ以テ代  
理爲致候間御用ノ節ハ同人へ御通知被下度此段御届申上候也

右

何

誰印

年月日

留主居人

何

誰印

區戸長宛 美濃紙三通

旅券願

私儀學術修業ノ爲メ七月二十二日發ノ汽船ゲーリック號ニ乗込北  
米合衆國加里福爾尼州桑哥西府リンコルングランマスケールニ五  
ヶ年間留學之爲旅行仕度候間旅行券御下渡被下度此段相願候也

年月日

住所  
原籍 何

誰印

外務省御中

右旅券出願の書式及區戸長へ宛差出す可き旅行券下附證明願書は左の  
如し但し願書は美濃紙にて各三通宛

旅行券御下附證明願

府縣下國區郡町村番地何ノ誰長次男

(寄留ナレハ)當時何府縣下何區何町何番地

華士族平民何ノ誰方寄留

身分 何

誰

何年何月何日生ル  
明治何年何月滿何年何ヶ月

別紙之通旅行券御下附之義外務省へ出願候ニ付御證明被成下度此  
段奉願上候也

右

年月日

何

誰

府縣知事宛

米國留學理由書

何

誰

一私儀今般語學修業(或ハ商業實地研究ノ若シクハ何々等)何月何日發ノ汽船何號ノ

便ニテ北米國何州何府へ私費ヲ以テ滿何ケ年間留學致候事

一留學中費用ハ悉皆私費ヲ以テ支辨致シ學費食料壹ヶ月米金何拾

幾弗(乃至四月三十弗)ト定メ(或ハ九十弗ヨリ云々)父兄若シクハ親戚

何ノ誰ヨリ正金銀行爲換ヲ以テ遞送致候且又歸朝其他臨時ノ費

用ハ其都度無遲滯拙者留學地へ送附ヲ相受候事

右之通聊カ相違無之候ニ付保證人連署ヲ以テ理由上申候也

年月日

右

何

誰

何府縣何區何町何番地(身分)

保證人 何

誰

同斷ハハハハハハハハハハ(身分)

保證人 何

誰 (印)

海外旅券願

私儀語學修業(或ハ商業研ノ爲メ)北米合衆國何州何府へ留學致度候  
ニ付旅券御渡方奉願候也

何府縣何區何町村何番地華士族平民何ノ誰

長次男(寄留ナレハ)當時何府縣下何區何町村何番地

華士族平民何ノ誰方寄留

年 月 日

何

誰

何年何月何日生レ  
明治何年何月滿何年何ヶ月

外務大臣宛

渡航費用の事

凡う外國ヨ旅行を希圖する士人の尤も注意を要す可きものは何りや携

帶物品即ち是なり既に外國旅行の經驗ある人々は無論其事なけれども  
新渡來者の如きは未だ其經驗なき故に往々無用の物品を購求して徒に  
貴重の學資金を浪費する者なきふあらず左りとは嘆すへき事ならずや  
是れ畢竟渡來者か事情不案内なるに因るへしと雖も亦之れが指針とな  
るへきの材料なきに因るならんか今左に渡航費用の概略を掲げて後來  
渡來者の參考に供せんとす

横濱より米國サンフランシスコ迄

○乗船切符壹枚 金五拾圓 (但最下等なり)

○製服 二着 金拾六圓 乃至貳拾圓

洋服は黒地の者にして丈夫ある仕立方を最良とす縫目極細かく脊廣ふ  
て前を切りたる胴衣付ある者か目下流行中あれども此流行形も本年限  
あるか將た來春迄も續くへきかは余の保證し難き事なれども今年中ふ

渡來の人々は此模様と仕立方を撰用して可なり若し流行形に適合せざるときは洋人の失笑を招きて不面目なれば余り美麗の服を殊更ふ新調せんよりは寧ろ丈夫にして流行形に適合する仕立を佳良とす

○靴

壹足

金三圓五拾錢

内外

當桑港にては日本にて流行する半靴は婦人用のものとして男子は誰ありて是を穿つものなす桑港人の一般に穿用する靴は即ち禮式靴と稱ふるものなり是れは東京伊勢勝に誂ふるを可とす

○靴下

壹ダージズン

金五拾錢

内外

○ズボン下

三枚

金六拾錢

内外

○シャツ

三枚

金壹圓八拾錢

内外

○ハンカチーフ

壹ダージズン

金五拾錢

内外

○ケット

貳枚續て大判壹枚に

金貳圓四拾錢

内外

○香水

但中等品

金貳拾五錢

内外

○ナイフ

壹挺

金貳拾五錢

内外

○カラ

壹ダージズン

金五拾錢

内外

○カフ

壹ダージズン

金壹圓拾錢

内外

○シヤボン

壹ダージズン

金四拾八錢

内外

○鏡并櫛

各壹個

金拾五錢

内外

○ツボン鉤

壹本

金三拾五錢

内外

○帽

壹個

金九拾錢

内外

○日本手拭

五本

金貳拾錢

内外

○薄葉紙

五帖(但郵便書簡用)金四拾錢

内外

○半紙

十帖

金拾八錢

内外

○筆及墨

若干

金五拾錢

内外

○懷中硯	壹個	金四拾錢	内外
○鉛筆	五本	金拾錢	内外
○カバン	壹個	金貳圓五拾錢	内外

合計金八拾四圓〇三錢也

此外來航者の必携すべき物品は和譯せる英辭書なり日就社第一版か若しくは第二版か或は藤本書店の出版に係る英華字典か又は丸善出版の英和雙解字典等其中に就て譯語の適切完備せるものを撰んで購求すべし  
 注意 船中は兎角寒冷にして風邪に罹り易きか故に右の購求す可き或る二三の物品を除くも船中にて着後はケットを蒲團の代用と爲すへし用ふるフランクケットは可成大判二枚程用意すべし太平洋の航海中は如何なる暑中と雖非常の冷氣を催すことなれば新渡來の人々は矢張り陸地と同様の暑氣ならんなどの淺薄なる考へを以て中には八

月のことなり小形のケット壹枚のみ携帯して乗込むものあれば此れは大なる心得違と申すべし去れば航海中寒冷不堪へ兼ねて同じ乗合の人より衣類などを借り受け一時の間は合するなと格別難澁なり故に航海中風邪に罹りて随分困難する人もある事故後來の渡米者は四季共よ非常の冷氣但し航海中なりと心得豫め其用意なかるべからず

右渡航入費豫算の概略は中等部内の計算上を示したる者よして之ふ當地着後の小遣金三四拾弗を要するとせば如何よ之を節略するも百五拾圓内外の總入用なかる可からず其は専ら其人の地位と貧富とふ適當するを要す必ず先其地位と貧富とよ依りて多少あるは勿論の事なり良家の子弟は父兄及親戚の充分なる補助を得て欲望無限の資金と美服(所謂華族の洋行か)とを携帯して來航する者よ至りては格別の



事なれども父兄の手助等よて僅かの資金を携へて來航する貧生輩の如きに至りては着後の用意金とても多少其心掛なかるへからされば右の携帶物品の如きは可成節略して手元金の少しも多からんこと極めて肝要なり

### 製服の事

衣服を調製するは専ら人々の地位體格場所ふ適合するを要す凡う人の威儀容姿は天性美なるものあり又美ならざるものあり其美なるものふして服飾其節ふ適するときは愈々美あり若し之ふ反して服飾其節ふ適せざるときは其美容を失ふものなり殊ふ日本人の如きは白人ふ比しては身体骨格の不規律ある頸筋の短小ある大腿骨の彎曲ある其威儀容姿の美ならざるふ服飾其節ふ適せざるときは其風姿甚だ不格好ふして觀るふ足らず况んや流行外れ此粗服を着して之を米人の目下ふ披露する

ふ於てをや吾々日本人の品位風采を損するや知るべきなり以上は日本より渡來する中等以上此資産を有する旅行者に向て此所望なれども當港へ來航の貧生輩に至りては余の所望も其功空しきか如し之を要するふ凡て衣服は身分ふ相應し身体に適合するものを選びて徒に許多の金を浪費し身分不相應の譏りを取る可からず尤も衣服の適不適は金を費すの多少にあらすじて之を製する思付の巧みあると拙あるとに由るものなり即當地の事情に暗らき渡來者の如きは多くの金を費し日本にて冬服夏服三四組も調製して携帶し來る者あれども其衣服は日本にて流行の新模様採擇ひ且つ良工此裁縫に成る由なれども當地にては兎角流行外れ此恐れあるより失望する者なきにあらす是れ多く此金散費して其益なきも此なり今より後に渡來する人々は尤も能く此邊に注意採要すべきなり

注意 桑港は四時常に變動なく我國此春秋と同様にして寒暖計は冬期四十九度夏期六十度但平均數内外此間茲昇降して熱くもなく又寒くもなき温良此氣候なれば衣服此調度も此邊茲心得て調製すること肝要ならぬ其他は着後當地にて新調せば値段も他此諸物價に比すれば極めて廉にして自分の好める流行形茲擇むこと茲得へければ格別都合善き事なるへし且渡航者か日本にて一時此間に合せんとあらば可成品質の良好なる服地を精選して華美よ調製せんよりは寧ろ品質此粗ふるも体裁能く裁縫する此美あるに若かず且其着衣脱套に注意此正しからんこと尤も肝要あり

#### 物品携帯此事

米國は保護稅主義此國柄にして他國より輸入此物品に苛稅して自國此物產茲保護する政策あるとされハ苧絹類等茲携帯する時ハ稅吏に沒收

せらるゝか左あくハ原價に倍する此關稅茲賦課せらるゝ事あるへし多き渡航者此中にハ當國海關此規則茲辨へざる徒ありて其手荷物中に見茲憚る等此如き物品茲隱秘して何喰ハぬ體に當海關茲通り抜けんとする者あるも流石ハ世界に名茲知られたる桑港稅關吏此事あれハ中々以て承知せず忽ち發覺せられて多額此罰金茲賦課せらるゝべきハ必定此事あれを左まで必要此物品にあらざるよりハ可成當海關此禁制すへき物品茲携帯せざるこそ雙方此手數茲省きて洵に宜しかるへけれ

#### 米國太平洋郵船此事

日本横濱より太平洋茲涉りて米國桑港まで渡海するに日數凡り十七日内外にて來航する茲得へし扱米國此郵便汽船ハ數多あれとも現今専ら太平洋茲航海する郵便汽船ハ當時八艘にして毎月三回宛日本横濱港と米國桑港と此間茲往來す右米國此汽船ハ一々茲に掲ぐるも煩ハしけ

れは今此八艘の船名示す可し即船名左の如し

東西洋汽船會社の所有に係る部分

○ヲセアニツク號

○ゲーリック號

○ベルジツク號

○サンパブロ號

太平洋郵船會社の所有に係る部分

○シチー、ヲフ、ペキン號

○シチー、ヲフ、ニューヨーク號

○シチー、ヲフ、シドニー號

○シチー、ヲフ、リオデジャロ號

右八艘の郵便汽船ハ米國サンフランシスコより日本横濱に至り夫れよ

り直ちに英領香港に赴き(或ハ神戸長崎に寄港することあり)夫れより横濱に來り夫れよりサンフランシスコへ歸航して常に日米香港間茲斷間なく往來する事なれば第一の便船に乗り後れたりとて又間もなく次回の便船あれハ決して落膽すへきにあらず去れハ横濱よりサンフランシスコへ渡航するにハ右八艘の内なる「ヲセアニツク」號ハ横濱發出帆して「香港」に行く頃に「ゲーリック」號日本横濱發指して「桑港」發出帆する故「ヲセアニツク」號ハ香港より乗客荷物茲搭載して再ハ横濱に歸航してサンフランシスコへ向て航行する道にて丁度「ゲーリック」號に行逢ふ都合なり

大平洋汽船々賃の事

日本横濱より米國桑港迄

上等

二百五拾弗

下等

(即歐羅巴人)

八十五弗

最下等(即支那人)

五拾弗

日本より米國桑港へ來航するに右の如く下等にも二種ありて歐羅巴人下等もあれど支那人下等もあり下等の名稱ハ何れも下等なれども歐人下等と右表の如く船賃壹人前八十五弗にて外に費用なし居所を釣棚にて殆ど日本汽船の下等客室と大同小異にて食事と下等ながらも洋食を喫するを汝得可けれど支那人下等に比すれば遙かに上等なり而して支那人下等客室と日本の恰も養蠶室の如き釣棚にて食事の粗末なること筆紙の及ぶ所にあらず便船の手續を横濱海岸通り四番館即ち桑港汽船會社の代理店に至り米國桑港行の乗船切符を購求して直ちに本船に乗込むも自由なれども横濱に至れば先づ汽船問屋旅籠屋のことに至りて万事周旋さする方却て手數汝省きて便利なるへし便船の手續ハ何船に乗込むも其手續に相違することなし扱其切符チケットに至て大切にするへし日旅券を紛失するも「チケット」を紛失すへし此のチケット汝本船に持參して船賃拂

濟の證據となすなり船横濱汝出帆の時會計官と書記來りて一々切符の有無を檢査する故若しも其節切符のなきものを必ず追ひ戻さるゝとあれど乗込雜沓の際必ず取落しなき様十分に注意すへきなり

注意 (一)乗船して場所を與ふるまでは必ず四五弗を貰ひに來る可し此時は自分の威力を逞うしてアイ ヘヴ ノー モ子 (即ち吾は錢を持たぬと云て斷然應ず可からず後來の渡航者油斷すへからず (二)船中にては便利の爲めに諸物品を賣捌けとも何れも高價にして普通の市價より四五倍の高價なれば決して船中にては物品を買ふへからず

### 手荷物之事

手荷物の少き者は善けれど手荷物の多き者は必ず其送方を心得さるへからず尤も上等客なれば手荷物多きも別に賃錢を取ることなければ

其心得も無用なれども下等船客は定限の目方に超過することあれば一  
封に就て何程と云ふ賃銀を取らるゝことなり即手カバン二個位迄は無  
賃なれども若し百封我十二貫目餘以上に昇るときは一封毎に二錢宛の  
運賃を別段に拂ふことなり但し着替の衣服を風呂敷包として之を携へ  
船に乗るとも別に其目方を改むることなし若し又千封以上の荷物あり  
て之を積荷して桑港まで運送せんとする者は會計役に相談すれば右の  
運賃よりも其割合を廉直にして先方まで送ることを得べし

#### 貨幣携帯の事

日本より貨幣を當合衆國へ持携するには最初墨西哥弗を持越す者甚た  
多かりしか後來の渡米者よ「メキシコドル」をば決して携帯すべから  
ず當時桑港にての通用貨幣は United States of American One dollar として墨西  
哥弗ふあらず其兩替屋ハ横濱海岸通りふある支那人の「エキステンジ」

に於て兩替す可し

注意 貨幣は横濱支那人の店に至りて米國貨幣と交換すべしメキシ  
コ弗をば決して買へからず米國弗は其相場百弗に我紙幣百十四五圓  
位なり時に依りて負けることあればと決して油斷をへからず其譯柄  
下條に説明す又相場も時々高下ありて一定ならず弗は支那人か多く  
傷物を所持する故ふ一々調へて受取るべし若し然らずしてウツカリ  
と受取り來らば當合衆國ふては一切通用せざるべし支那人は世界よ  
著名の狡猾者なれば中々以て油斷すべきにあらず諸君(兩替する人云ふ)の大  
ふ戒心すべき所あり其傷物とは弗ふ穴の明きたるものへ巧みふ亞鉛  
を以て其穴を塞きたる者にして一寸素人の眼力の及ばざる所なり當  
合衆國にても支那人より受取る可き金員は極々吟味して受取るなり  
就中近來渡來者の金錢は旅籠屋の主人か宿錢を受取るにも眼を丸く

して検査せり之れ日本人か支那人に誤魔化されて傷害ある弗を持携する者甚た多きか故なり今日迄當桑港に來りたる者大概は傷害したる者を持來りて五弗を二弗位にて取替る者随分多し又弗の文字磨滅して判然ならざる者も受取るへからず弗の形状はユニテツトステートアメリカアン ドルラル及ひ鷲此圖又裏面には年號と女此姿及ひ星此模様ありて一弗五十仙二十五仙此區別あり

爲替金取組此事

日本より金員或當合衆國桑港府在留此者へ送らんとする者は一弗以上五十弗迄は東京郵便局にて爲替方を取組む事或得可し其取組方は米貨本位を以て日本紙幣或仕拂ふ可し左に米貨本位に對する紙幣此比較或示して讀者の參考に供す

日本紙幣 二十五圓に付 米貨二十弗の割

日本紙幣 五十圓に付 米貨四十弗の割

右此比較表は銀貨の變動に依て時々多少此高下あるへし(右表は千八百八十六年六月中の爲替相場を示したるものなり)

爲替手数料

一弗より二十五弗迄は 爲替手数料 三拾五錢

二十五弗より五十弗迄は 同 七拾錢

爲替取組仕方

外國郵便爲替或取組まんとする者は東京郵便局外國爲替課に至り横文にて印刷したる願書一葉或受取り之に先方請取人の住處姓名及ひ送るへき金額或何十何弗と英文にて認め最後に差出人此氏名或記して花押すへし若し又英文にて之或認むること能はされは掛官に代書或請ふも可あり

太平洋郵便汽船々中模様此事

太平洋航行此郵便汽船は英船も米船も大抵同じことあれども此度余此  
 乗りしシチー、ヲフ、リオデジャネーロ號此景況成あらまし左に記すへし  
 同船ハ米國太平洋汽船會社此所有に屬する商船にして船体甚た大あら  
 す汽力も甚た強く逆風にても一晝夜平均二百五六十マイルも走るへし船  
 此兩側にハライフボートとて短艇殆ど十餘艘程ある成見受けたり此短  
 艇ハ何此用に供する者かと云ふに若し萬か一にも本船此難破すること  
 あれば此此ライフボートに移りて一命成全うする工夫あり故にボート  
 此内にハ常に食糧并に天文成測るに必要ある器具成備置き何時にても  
 不意此節へ之に乗移り饑渴の心配もあく器械を以て天文を測り何方に  
 ても自由に行ある、様にしたるものあり乗込の人員ハ船長以下ボーイ、  
 コック、マドロスに至るまで皆米人と例此支那人あるか如し日本人ハ一

名も見受けさりし船客ハ上等二十餘名(皆洋人)下等歐人四名及余等十餘名  
 最下等ハ支那人四百八十名餘ありし船ハ四層にして一層目即船底にハ  
 諸貨物成積み二層目ハ支那人此客室にして恰も日本此養蠶室に似たる  
 も此にして幅二尺餘長さ一間許りもあらんと思ふ釣棚(竹を以て製あり)  
 三層目ハ下等歐人の客室及機關師大工料理人等皆船員の居室あり四層  
 目即甲板デッキ上には船長成始め士官の居室并に上等客室あり余輩ハ支那人  
 と同居すること兼て覺悟の事あれば左まで堪へ難しとするにあらされ  
 ども支那人ボーイのズークシイにハ余も殆んど當惑せり余の室に出入  
 するチャイナメン來りて各々更に五弗を與へすんは支那人と同居せよ  
 どの旨成告く(余等の乗りたる時は下等歐人の船客僅かに四名のみなれ  
せり之れは會計役か都合を計りて乗客の少)余等此言成聞て心中大に怒  
 ると雖道理成以て説くに方便あき下等の賤人あれハ最初の程はアイ、へ

ヲ、ノ、モ、子、一、茂、再、三、再、四、云、ひ、た、れ、と、も、彼、れ、益、促、し、て、已、ま、す、余、等、已、を、得、す、  
 最下層に下りて支那人の團欒せる有様を見るに其汚穢にして一種厭ふへ  
 きの悪臭あること芥溜に越え其陰暗なること穴藏に優りたり余等此有  
 様を見此悪臭を嗅きて忽眼眩みて嘔吐を催さんとすハンカチーフ茂鼻  
 に當されハ瞬間も止まること能はず四百餘人のチャンク坊主の頭顱  
 ハ蠶棚より下りて相集り喧々囂々酒茂飲み博奕茂爲す其有様ハ實に人  
 間の所爲トハ思ハれず同じく亞細亞の人種なる我々さへも之茂賤むの  
 念茂起す況んや人種を異にする歐人之茂見て益々輕侮の念茂増すハ無  
 理ならぬことなり余等の一行議論四派に分れ一ハ支那人等と同居すへ  
 して云ひ一ハ到底我等ハ支那人と同居するを好まず宜しく五弗を投じ  
 て居を移すへからすと云ひ一ハ彼の要求頻りなるも斷乎として動く可  
 らすと云ひ一ハ與へず移らす儼然此處に居るへして議論紛々鼎沸する

か如く甲論乙駁一暫一止むへき様も見えざる折柄ホーイ又來りて支  
 那人と同居せよと督促して止まず余此に至て勘忍袋の緒も將に斷んど  
 したれとも又如何ともする能はず各自遂に五弗ヅ、茂與へたり然るよ  
 其翌日持來る食物茂見れハ下等南京米散人曰南京米は日本米に比すれ  
は常に下等の位置に立つ者なれ  
とも其より下等なまは茂以て炊きたる薄粥の如きものにして其中には  
讀者宜しく推察あれ芋あり野菜あり豚の小切れあり種々様々のものを入れて雜煮したるもの  
 にして其器皿の不潔なる言語に尽し難し其調理は更に醬油を用ひす只  
 鹽と豚の膏にて煮たるものなれば一度其臭氣を嗅けば忽ち嘔吐を催し  
 逆も之を食するの勇氣も出す併し之を食せされと只手を空うして饑渴  
 に迫るのみされハとて之を食せんとすれと臭氣鼻腔を貫き一じも食ふ  
 可からず最初の一二飯を耐忍に耐忍を加へて食せさるも左程の困難も  
 なかりハかと漸く饑渴に迫りて已を得ず同行中梅漬佃煮大根漬等の持



合せあるを以て之を菜としハンカチーフを以て鼻に當てなから漸くよ  
して一杯を尽したり

食物携帯の事

右の次第なれど渡米者を豫め此等の事情を明かにして乗込の前日己れ  
の好める食物を何なり共携帯して乗船すへし尤も船中にての飲食物は  
其人々の好き嫌ひもあることなれば何々を携帯すへしと指圖する譯に  
を行かされども先指當り誰にても食すへきものにて菓子麵包パンの如き水  
分の尤も少なき者は別に腐敗の心配もなく携帯上大に便利ならん兎角  
船中の食物の腐敗速かにして困難なれども俗に堅パンと稱する者ハ廉  
にして且消化も速かなる佳良の食物と云ふへし船中にての食物は無聊  
を鑿する爲めなればカステーラの如き餘り軟かきものは宜しからず可  
成食するに時間の費ゆる者假令ハ堅麵包パン、豌豆蠶豆エンドウソマ、乾栗等ホシゴの如き者は滋

養分もありて至極宜しからん(此等の食物とても能く細めは胃)食物(即菓  
云)を携帯しても航海一周間乃至十日以前は之を樂みにして食すへから  
ず最初よりこれを食すれど未だ一周間も経さるふ早く已に尽して後の  
樂みを失ふことなれば暫しの間躰屈を忍んで食せさる方宜しからん扱  
又梅漬或醬油とか味噌漬大根の如きものを携帯せば「ライス」を食するに  
甚た都合宜し猶此外にも牛肉或は鶏肉の佃煮若しくは鮎の佃煮をも用  
意せし此上もなき便利なり

船中便所の事

船中の便所を左右に七八ヶ所もありて上等の客と中等の客とは區別あ  
り又舳の方にも下等の客并に水夫共の便所數ヶ所ありて下等客は重も  
に此處に入るなり併て便所ハ船中指圖役の立合にて毎朝ポンプにて海  
水を注ぎ清淨に掃除行届きて誠に奇麗なり凡て西洋の便所ハ一段高き

所に圓き穴ありて此の穴に腰を掛ける趣向なり此便所の模様を家の内にある者と毫も異なることなし唯諸君の注意すへき要點を他なし各其用を達するの際大小便を日本流に一時にヤラカシテ便所を汚すものなきにあらず殊に初て米國に航する人なとを格別其心得方を知らざるべからず若し之を心得すして日本流にヤラカスものならんにと面目次第もなき事にして西洋人の笑を受くると甚た多かるべし

#### 船中心得の事

横濱より太平洋航行の郵便汽船に乗らんとするを總て此等の心得方あるべきなり先づ船へ乗込むに諸事能く氣を着け随分手廻しするか肝要なり併し出帆刻限をも見計らえずして乗込の餘り早過くる時に出帆前船中甚た混雜して騒々しくもあり又体屈にもあり故に乗込前を何時にてもオイツレと云ふべき様用意し出帆刻限より二時間か三時間前に

乗込むを都合よしとを扱乗込を上等なれと所持の切手に部屋の番附も記しあれと自分の部屋を取極め持參の荷物を小使にいひ付け運ひ込ませ都合よき様取付く可し下等の客を總て己の居所より外へ出る能えず甲板上に運動するも下等客の爲めに定めたる欄外の場所へ出る能えず煙草を部屋并に食堂共禁制なり携帶のカバン或は荷物の錠前なきものは假令紛失品あるも苦情を訴ふる能はず且携帶の物品には必ず記名す可し

#### 船中英語を學ぶ事

船へもとより乗合のことなれば諸縣の渡航者打交り商業視察として行く者あれば藝術研究の爲めに赴く者もあり其他農に工に苟も西洋文明の實利を採るに汲々たる勇壯活潑なる青年社會の渡航者尤も多きに居るか如し或はビールを飲んで咳一咳して曰く

## 男兒立志出鄉關 學若不成死不還

など吟し或は茶果を喫して理屈を云ひ或は書を讀み或は航海日記を作り或は小説書等を披くものあり其有様は恰も日本の乗合船に毫も替ることなし然るに此乗合船の中に就て余の尤も感じたる事あり今其譯柄を左に述へん

本來日本人は當合衆國に來れば何事をなせにも皆西洋人を相手にしグーットモーニングを初めとして其他諸般の言語に至るまで一々皆英語を以てせされは一寸パン一個買ふにも又は奉公先にて仕事するにも甚た不便なれば渡來の日本人は充分英語を修めたる上ならては不都合少からすとの事は已に世人の記憶に存する事なり是れ此の急務に應せんとして猶能く船中に英語研修を怠らざる者あるは其志に篤き賞するも餘りありと云ふ可し其は船中にて甲乙丙丁互に申合せて會話の問答を

なすの方法なり船横濱を發してより大平海の航行日數は殆ど十七日内外を費すことなれば後來の渡米者も亦其時間に英語でも學びたらんには自身に益する所蓋し鮮少にあらざるへい

## 禮式心得の事

夫れ禮は人間社會の交際に缺くへからざる至重至貴の者にして交際を媒介し親交を維持し粗暴を和くる等貴賤貧富の別なく一日も缺くへからざるや古來已に定論あり復た喋々を要せざるなり然れども東西其風俗人情を異にするかゆゑに我日本にて禮法に合へる事も米國にては却て無禮とすることあり日本にては總て男子を尊み婦女を卑しみて交際社會に加へざる事なれども當合衆國にては却て婦女を尊敬するを以て常例とするか故に若し街上往來の際誤てなるとも婦人に衝突せる事あれば忽ち巡查ポリスに拘引せられ違警罪を以て處分せらるゝなり然れども

敢て男權を重せざるにはあらず唯婦人は天性身体志力微弱にして男子の如く身体志力壯剛ならざれば男子の之を助くることなり例へば「セントルメン」〔紳士〕にして男女同席にあるものに面接を請ふとき其諾否を問ふは必ず婦人を先にす是れ婦人を尊敬する一例なり又客を我家に招きて宴會を開くにも専ら來賓に接し諸事を指圖するは其家の婦人にて亭主は僅か「ワイフ」〔妻〕の手傳を爲すか如き有様なり

總て文明社會に於ては婦女子を尊敬するを以て一般の風習とするか如し近來渡來者の中ふは當國の禮式をも辨まへざる人ありて當港に到着するや在留人は本國の様子を聞かんとして旅宿を訪問する時杯ふ兩手を際の上ふ置き低頭屈腰して向後何分宜しく願ます杯と云ひ之を洋人ふ傍觀せられて大よ笑はるゝ事あり且又之より最も甚たしきはホテルの食堂にて各國の旅客數十名會食する中ふ洋食の喰方を心得ざる人も

ありてナイフを左りふ持ちフォークを右に採り揚々自得の色をなす或はスープの音高くズー／＼と吸ひ或は皿をカチン／＼と鳴らしてパンを切るなど其不体裁を見るに忍びを傍觀者たる洋人に對して面目なく穴てもあらは入りたき心地すれども何の氣もなく平氣な顔してカチン／＼ズー／＼やられるよは實は閉口せり如何に新參者なればとて洋食の喰方位は心得て來航せられたきものなり否らされは知らぬ自身は尙の事在留日本人の名譽も關する事なれば責めては普通一般の洋食の禮式たけも心得置きて右様の不体裁なき様十分の注意を要するなり

#### 食事の事

食事は朝晝夕の三度に於て朝は珈琲を飲み食事の品も四五種許り晝飯も朝と同じく一寸葡萄酒などをのみ格別の馳走なり夕の食事は三度の内一番の馳走にして色々の品十二三種も取揃てゆるりと飲食すること

を得可し馳走の品は三度共肉類野菜類パン等にして食後は水菓子或は乾菓子カツフィー等なり總へて料理は中々丁寧なり食堂には巾三尺許りの長きテーブル幾個もありて其上に馳走の品物并に銘々の皿茶椀ナイフフォーク等をならへて食事をする者は二十人も三十人も椅子に腰を掛けて幾個ともなく寄せ集めたる一つの大テーブルの周圍により集りて喫するなり食堂の裝飾は意匠を盡したる者と見え東洋産の大花瓶に百花を植ゑて室内の体裁を飾り其結構誠に鄭重なり

#### 食事の心得

- 第一 食事の際テーブルに對して身体及手足を妄に動かす可からず
- 第二 隣の席にある人と談話するときは極めて低聲にすへし
- 第三 己の衣服を注視すへからず或は汚點するも意に介すへからず  
他客に對して無禮に涉れはなり

第四 椅子を斜にし身体を欹め情容あるへからず

第五 肘をテーブルの上に横たへ或はテーブルを距ること遠きに過くる等の情容あるへからず

第六 からしほすのもの等を入れたる器皿及パンを弄す可からず  
此禮法を心得たる人をして之を觀さしめは定めて赧面すへし  
談話動作は愉悅寛優の容色を要す毫も愁苦不快の狀を爲すへからず

第八 鼻息を高くし胸部を張り及手を肩の上に伸すへからず

第九 食物に己の嫌惡すへきものあるも之を容色に見はず可からず  
又好まざる物は手を下すへからず

第十 肉叉を以て分ち難きものは肉刀ナイフを以てすへし肉刀を以て食物を口にすへからず

- 第十一 ツツプは匙を用ふへし啜すり音を高くすへからず
- 第十二 ツツプの如き匙を要する物此外は肉叉を用ふ可し
- 第十三 魚肉は肉叉を以て之を喫す可し(但し左手を用ふへし)
- 第十四 魚肉の骨ある物は先之を取り去るへし若し已に之を口中に入れて骨あるを知らば食巾を以て人に知れざる様口を掩ひて之を取り去るへし
- 第十五 パンは必ず左手の指にて割りて喫すへし肉刀肉叉を用ふ可からず
- 第十六 パンはバターを付けざる前に之を裂くへし裂かすして喫す可からず
- 第十七 パンを食するには唯バターを付けたるのみにて喫すへし之をツツプ或は食物の残りたる汁に浸して食すへからず

- 第十八 果物を食するに當りては密柑櫻實葡萄等其核を呑み下すを欲せざるときは密かに取りて器皿の一隅に措く可し或る場合にありては小刀を以て其皮を去り或は切り或は剖きて之を喫するも可なり
- 第十九 凡る食事の際にはツツプを啜るに高き音を發せざるを佳とす若し之を發するときには他客に對して無禮に涉れはなり又食物を口中に入れたる後は決して之を見ざるか爲めに口を閉じて食すへし日本流のムチャク食ひは野蠻人の所爲として大に他客の擯斥を受くることあれば最も注意すへきことなり
- 第二十 食巾は専ら食事の際に口を拭ふに用ふるものとす是を以てハンカチーフの代用を兼ね額鼻等を拭ふへからず
- 第二十一 菓子を食べするには肉叉及び匙を用ふへし決して肉刀を用ふる

こと勿れ

第廿二 已に食物を口の中に入れたるときは決して他人と談話す可からず食物を嚥下して後語るへ

第廿三 食堂に入りて已に椅子に腰を掛けたるときは妄りに其席を離るへからず

第廿四 水を飲むには右の手を以てすへ之を授くるも或は受くるも亦右手を以てす可し其他は都へて左手を以てすへ

第廿五 テーブルに對しては指を口の中に入れて食物の齒牙に挟りたるを直ちに取るへからず食巾を以て口を掩ひて之を取り去るへし決して衆客列坐の中にて指頭を以て唇齒に觸れしむへからず

第廿六 珈琲或は茶等の熱度を放冷せんとするには宜く口氣を以てす

可し之を他の器皿に移して放冷すへからず

第廿七 食事已に終らば食巾を疊みて之をテーブル上に整置すへし否らずして之を椅子に掛け或はテーブルの下へ放擲り置く可からず

第廿八 食已に終りて食堂を去らんとするときは極めて静肅にして己れの椅子を後方に却けて退く可し

訪問の事

人を訪問するには必ず避く可き時刻を心得ざるへからず文明國は日本杯とは大に異なり人を訪ふにも必ず先方の妨げとならざる様に能く差支なき時間を計りて訪問するか故に朝飯前に行きて食事の妨げとなり夜分遅くまで談話して時を費すなど人の迷惑になる可き不体裁はなきことなり其避くへき時刻とは即ち早朝晝飯前夕飯前深夜是なり嘗て面

識もなき人の家に至りて主人と相見るに紹介者なきときは自ら己れの氏名を告げて後主人に面すへし是れ當國訪問上の通式なり

#### 添書の事

近來渡米の日本人は日本在留宣教師の添書を持携する者甚た多く中には添書を持ちて其指名の人を訪問する通式をも辨せざる人ありて間々米人の笑を招く杯余の往々聞く所にして外聞の餘り宜敷事にあらされは左に通式の一斑を示して新渡來者の参考とせん

添書を持ちて人を訪問するときは宜敷己れの名刺と共に之を呈すへし主人に面接して然る後に呈するは甚た不敬に渉るものとす主人は添書を見るや直ちに接見すへし其面接するや満面に喜色を呈するあらんとを要するなり

注意 添書を以て主人を訪問する時は襟飾袖口共に新らしき物を用

ふ可し好し新調品にあらざるを可成清潔にして汚黴のなき物を選用すへし

#### 往來にて應對の事

凡う文明社會に於ては男女を問はず戶外散歩の時は室内に於て裝飾整備は勿論外套手袋を着け帽を戴く等に至るまで一を遺忘なき様にして然る後戶外に出るを可とす急速を要すへき用向きあればとて歩行しなから手袋を着くへからず又我邦にては何の遠慮もなく往來中にて人を紹介する者あればと當國にては職業上必要の事あるにあらされは往來にて人を紹介すへからず若し友人と共同作者と未だ相識らざるときは言を交へずして可なり但し其別るゝに望みては戴帽を脱して禮を行ふ可し既に相識となりたる貴婦人及其他の人と往來にて相逢ふときは唯帽子を脱し或は少しく首を屈すへし若し煙草を含み或は手をポケット



に入れたるときは煙草を取り手を出して戴帽を脱し禮を行ふへー若し  
 往來にて紳士或は貴婦人に出會するときには戴帽を脱し屈首の禮式を行  
 ふ可し殊に言語を交へんとするときには戴帽苦しからずと許し之言の  
 らざる内は始終帽子を携帯す可し又他人と對話する時は喜悅の顔色を  
 呈すへー且慎みて齒を顯はすへからず馬車の上にて出會するときには唯  
 少しく首を屈して可なり凡る車中にありては左を貴者の座とす途上少  
 者の老者に逢ふ時は少者必ず先づ禮を行ふへー若し禮を爲すも老者之  
 を省せされは再三するを可とす若し途上貴婦人或は紳士に會合する  
 きは歩行を停めて談話すへからず若し彼歡喜すへき談話あらは貴婦人  
 と共に歩行して語るへー談し了らす帽を脱し禮を行ふへー貴婦人と談  
 話するときには懇ろに答へ且少しく帽を脱すへー途上或は階上にては長  
 談す可らず是れ文明國の風俗は婦人を尊敬するの常例あればなり

粧飾の事

元來香油香水等の如き艶髮石鹼の如きは粧飾品にして婦人の外は日常  
 重要な品にあらざるもの、如くなれども文明國の人程清潔艶麗を好み  
 且人自ら健康を保たんが爲めに衛生上尤も缺くへからざるものとして  
 之を使用する者男女共に多き事なれば後來渡米の諸君も此邊に注意し  
 て頭髮亂散のことなく毎朝美麗に梳るへー(白人に倣はる、然らざれば  
 者は殊ふ然り)支那人の如き輕蔑を受くるとを免れざるへし又齒牙の如きは毎朝或は  
 食事毎に楊子を用ひて齒の内外を縦横に摩して垢汚を去るへー其刷毛  
 尤可成柔かなるをよしとす毎朝已に顔を清めなば髪を梳り而して後に  
 噴霧器俗に香吹きといふ物を以て顔面及頭髮等に注射して清潔艶麗に  
 すへし

英語研修の事

西洋人の習慣たる百事皆我邦人と異なるを以て始めて西洋人に接見して好誼を述るに先づ帽を脱し次に握手の禮をなす可し決して低頭折腰の事なく或は僅かに頭首を屈するとあるも其人と會話するには務めて語勢を張り舉止甚だ寛裕なるへ西洋人に接して對話中不意に質問を受けて直に答辯するは困難の事なれども交際上に用ふる言語を通例限りあるものにて之を記憶するを容易のことなり米國に渡來すれを何事を爲すにも皆英語を以て用便を達せざるへからされを日常交際上に應用する英語を記憶すへし其語の種類三千餘も記憶せば普通の談話位に差支なきものども英語を將來全地球上の言葉となるの勢力を有せるか故に苟も天下に大業を爲さんと欲する者を農たり商たり工たるに論なく進んで之を研修せざるへからず況んや條約の改正と共に内地雜居の制將さに近きにあらんとするに於てをや後來渡米の諸君を勿論苟

も文明國人と對手する者を日常交際上に應用する英語を研修すること殆んど飲食よりも尙且切なりと云ふへ後來の渡米者を普通の會話に差支なき位までに研修せられたり

人或は曰えん語學は着後暫時にして自得すへと謬りも亦甚し當地は鳥渡紙を一帖買ふにも差當り郵便切手を求むるにも一切日本語は不通用なれば片言交りにても英語を使用するの必要を感じるなり而して之を平均するに有資者(即華族の子弟)の留學生は無資者の勞働(勞働乃傍らものにてハウスウオーク)社會に比すれば總体に語學の進歩甚だ遅き無資の貧書生輩は卑賤の業に従事するも語學の進歩に至りては遙に有資の留學生の上にありと云ふ

#### 桑港上陸手續の事

船太平洋の航海を終り右に「シーサー」を望み「ゴールデンゲート」を過ぎ左に

オーグランドを見又右に桑港を望みて船の進行漸く緩く汽笛一聲の合圖と共にカスタム、ハウス(關稅局)より小汽船にて醫師稅關吏巡查等十數人來船して乗込を調べ稅吏は乗客船員より其他殘る隈なく嚴重に調ふることあり此際若し密輸入品と認定するものあるときは誰れの所有品たるに論なく沒收或は課稅す可し船進んで棧橋に至ると此に船を停めて上陸す此時も稅吏來て乗客の手荷物を一々點檢するを常例とす

#### 投宿の手續

稅關官吏已に乗客の手荷物を點檢して故障なくは直ちに上陸すへし然るときは各旅店ホテルの代理人は銘々馬車を引き來て止宿を勸むれば各宿引の中に就て己れか投宿せんと思ふ旅店ホテルの名を呼ぶ可し假令はコスモポリタンの代理人は誰なりやと呼ぶ方宜し又單に家名のみを呼ぶも可なり然るときは同館の代理人(案内者)たる日本人來て馬車に客及手荷

物を搭載して其ホテルに誘導すへし新渡米の日本人中には英語に通せざるより旅宿に至ても不便ならんと掛念する者ありとも「コスモポリタン、ホテル」及「ニューコンチネンター、ホテル」の如きは兩館共に日本人を雇置く事なれば其等の掛念は毫もなし扱宿屋の模様は上中下色々あり上等の宿泊料は一日の賄一人に付き四五弗位より五拾弗位までの差あり併し右は上等旅店の旅籠料なれども「コスモポリタン、ホテル」或は「ニューコンチネンター、ホテル」の如きは日本人の定宿にして其宿泊料も極めて廉價なり今左に兩旅店の宿泊料を掲げて渡來者の参考に供せんとす

上等	一日の宿泊料三度賄付にて	米貨壹弗五拾錢
中等	同	同壹弗二拾五錢
下等	同	同壹弗

ニューコンチネンターホテル ミツシヨンスターリート五百四拾七番  
にあり

特別下等にて賄付宿泊料共一日一弗なり然れどもコスモポリタン  
ホテルに比すれば飲食の器皿并に室内寢臺等不潔なり

注意 上陸の翌日は日本領事館に出頭して名簿に記名すへし

奉公口を得るの手續

近來我國の青年子弟輩は兎角外國留學を熱心せらるゝ様子ふて渡米者  
大に流行し我もくゝと乗出さるゝ者甚た多き事なるか十分の資金を有  
する金満家の子弟の小遣ひも不足なき氣樂な留學生とは大に事變り  
着後の翌日より糊口の途を得んか爲めふ或は職人となり或はコックと  
なり又は商家の小使と爲りて勞働の傍ら勉學せんとする篤志の者の  
其奉公口を求むるふは日本人の設立に係る日本福音會に入會せば萬事

同會の周旋ふて相應の奉公口ふ有附く事を得へし尤も同會の周旋ふ據  
らざるも既ふ會員となりて同會ふ寄宿し居るときは會員中ふても世話  
する者あり且又些少の手續料を出して歐人の口入所ふ依頼し若しくは  
新聞廣告等を爲すも可なり相應の雇ひ手あることなり桑港ふては逆も  
思はしき奉公口なきときは更ふ方向を轉してオーグラントふ赴く者あ  
りオーグラントは桑港を距ると七八里の海上に相對し汽車汽船の日夜  
間斷なく往復する所なり華盛頓町にある福音會は其支會をオーگران  
トに置き在留日本人の寄宿及入會を許し品行方正ふして會則を遵守す  
る者は何人を問はず入會を許諾する由なり福音會は當米國ふて最も盛  
なる美以美派メソジストの學校にして米國中の諸學校と聯絡を通し居るか故に東  
部地方より向はんとするよ充分の旅費を携ふるときは隨分大學校に入り  
多年の螢雪を積みて大學の科程を卒業し學士の稱號を得ること左まで

至難の業よめらす(其方法は福音會の周旋にて同會よりの添書を以て大學校の小使或は門番となりて労働の傍らに勉強する法なり)然れども此事たる尋常一様の辛抱よては逆も其目的を完うすること能はざるなり勞役は身体骨格の強壯なる白哲人と相拮抗して働かざるを得ず優柔不斷なる日本の如き勞役の有様よては到底一事一業をも爲し能はざる可し殊に大學校の庭掃除或は小使となりて其傍らに勉強して大學の卒業試験に出席するよは少なくとも十二三年の星霜を要せさるへからず此の間の辛抱實に長くと雖も歲月は恰も流るゝ河水の如く一度去りては亦歸り來らぬ者なれば唯空しく貴重の時間を消過して一藝一能の身に得ざる者に比すれば殊勝のことなれども鐵石の心にあらずれば堪ふ可からず此の難儀に堪へて十二三年間も労働の傍らに苦學せば大學の科程を卒業すること左まで難きにあらず現に東京英和學校の教師なる小方仙之助の如きは則ち此方法にてインジャナにあるグリーン

カツスル大學校を卒業し其後諸所のチャルチに遊歴して演説を爲し到る處大に喝采を博せり(以上の事實は散人自ラオリグランドなる日本美據るも)後來々航の人は漫然輕舉他日の大業を誤ることなかれ

#### 桑港諸學校の有様并費用

サンフランシスコの公立學校は其教則善良にして其數甚た多きとなれども尙ほ其他私立學校大學校等一百餘あり其中には中々盛大なるものありて人々に十分の教育を受くることも得可しと雖も東部各州にある大學校の教課に比すれば幾分か不完全の譏りなきにあらざれども就中書籍器械も能く整備せる者はベルクリーの學校なり此學校一ヶ年の費用は貳百弗にして太平洋大學校は七拾五弗なり(卒業期限は六ヶ月にして既に月謝を納むる以上は一年なり又は二年なりとも同校を卒業せざる内は七十五弗の月謝より外に納むるを要せざるものとす)猶此外に寄宿料

七拾弗なり時間は他の學校と同く又夜學もあり(但し夜學科生徒は三ヶ年にて卒業の期限とす)

桑港は商業繁盛の土地なれば學問研究の目的にて渡航する人留學中の學資金に不足なき人は此港にて入學すべきにあらす前段既に陳言するか如く桑港は商業一方とも云ふべき所にして學事は兎角不完全の譏なきにあらざれば充分の資金を有する者は東部諸州の大學校に入學するかた善良の教育を受くる事を得へし

政治學特に經濟學の初歩を講習するの博きは五大洲の諸邦能く北米合衆國の右に出るものあらざるへし

合衆國の憲法及經濟學は特り各「コレージ」及「ユニヴェルシテイ」の教課中に加ふるのみならず男女共に登校することを得べき所謂「セミナリー」及「アカデミー」に於ても亦此二學科を置かざるはなし加之ならず公立中小

學校に在ても猶往々之を教授せり

此の講習の範圍及教授の方法に就て論議せんと欲せば必ず先づ其學校の組織如何を熟知せざるへからず

當世紀の初めに在ては高等の教育を受くべき場所は單に「コレージ」ありしのみにて往昔亞米利加の「コレージ」は恰も獨逸國現今の中學校に比すべきものなりき而して此「コレージ」は學科は羅匈語、希臘語、及算術を主とし兼ねて歴史及哲學中種々此學科を授けたるものなり

右の學科は四ヶ年を以て卒業此期とし此校に入らんと欲する者は一定此豫備科を修むるを要す其卒業生徒此年齢は十八歳乃至二十歳なり而して卒業此生徒は更に法學、醫學或は神學等此學校に入りて専門學を修め若しくは製造工匠等の職業に就きしものとす

「コレージ」の試業は其目的將來法學、醫學、神學の三校に入らんとする者若

よくは教員たらんとする者の爲に之を行ふにゐるを以て之に由りて別に何等の特權をも得ることなく隨て「コレージュ」に入る者は皆其將來生計の資となるべき職業を修得せんとする前に於て豫め普通教育を受けんと欲する者或は將來專門學校に入らんとして先づ其基礎たるべき豫備の學科を修めんと欲する者なりき

然るに漸次歲月を閲みするに隨ひて「コレージュ」の學科中從來羅匈語、希臘語及算術の外更に他の科目を設くることの必要なるを感するに至り殊に世人は眼を哲學、理學及近代外國語に注ぐの勢に趣くを以て右の需用を満足せしめんには次の三様の方法に依らざるを得ず

第一は「コレージュ」の教育を完全ならしむるかために獨乙國の大學校に倣ひ各般の智識を教育すべき學校を新設するにあり、第二は従前の「コレージュ」に於ける古代國語學及算術乃教授時間を少く減縮し此時間を以て

新學科目の教授に充つるにあり、第三は従前「コレージュ」に於て教授したる學科の一部を除きて之を其豫備校乃學科中に編入し以て其一旦「コレージュ」に入りたるを再びために他乃新學科目を修むべき時間を存するにあり

以上三法の中其實際に行はれしは即ち第三乃方なり

生理學、植物學、物理學、地質學、經濟學、佛語學、獨語學、論理學、哲學、史學等並如き高尚にして必要なる諸學科種を接して起り各々「コレージュ」の教科中に位置を占むるに及び舊來乃三學科は次第に下等學校に貶黜せられたり故に「コレージュ」の入學試業も亦頗る高尚となり今日此子弟か受くる處の入學試業は昔日其祖父か受けたる所の卒業試業よりを一層困難なるに至れり斯の進歩の結果は今日「コレージュ」の修學期を四ヶ年となし前後の二期に別ち羅匈語、希臘語及算術は主として前二ヶ年間に之を教授し後

二ヶ年間に至りて之を以て特別となり更に代ふるに萬有學、新語學、哲學、論理學、史學、政治學、萬國公法、心理學等を以てするに及へり

此「コレージ」の前期の科業は恰も獨乙中學校の後期二ヶ年のものに相當す後期の教科は獨乙大學校の學科に類似す然れども其獨乙諸學校とは大に趣きを異にし「コレージ」に於ては各學科を授くるの時間を確定し毎週四五時間之を教授し拾貳週間に於て卒業法は専ら問答法を用ふ而して生徒は普く此等の諸學科を修めざるを得ず且教科書は凡て一定したるものを用ふ故に必ず一學科を専修するの便利を缺くを以て「コレージ」の卒業生は普く諸學科に通ずるを未だ一學科の蘊奥を究むること能はざるなり

法律家、宣教師、醫師とならんとし或は商法家たらんと欲する者の爲めには善良なる組織なり何となれば普通の教育を受けたるか故に各専門學校に入るの便宜なればなり然れ共凡て高等の教師となり或は民間の學者となり更に一定の學科を研究せんと欲する者は將來何等の方向を取るべき哉又彼輩は何等の時期に依りて志業の準備をなし得べきや之を要するに此輩の爲めには甚た不便宜なる方法と云はざるを得ず

今を距ること十四年以前には亞米利加全國中彼輩の目的志願を達すべき時機なく僅かに一二の博士に隨ひ私に其教授を仰くに過ぎざり然れども此等の博士も亦繁忙なるか故に充分の教授をなし得るの時間を有すること頗る稀なり唯多くの「コレージ」に於ては其卒業生即ち四ヶ年を経て「コレージ」の學科を卒りたる者を謂ふの爲めに所謂「ポスト、グラジエント、コース」なるものを置き其所志の學科を専修すべき様得せしめたりと雖も前記の如き景況なりしゆゑに斯の如き學科は全く有名無實となれり畢竟亞米利加の教授法は不完全にして實功を奏すること



甚た稀れなりしものなり我儕は今此解説を了らんとするに際して更に此の「ポスト、グラジュエート、コールス」の不可思議なることに注意せしめんとす凡て「コレージ」の學科を卒りたるものは其希臘羅馬の古代語學を學び或は理學を修めたるに因て「アルチウム」或は「サイアンチャルム」、バツカラウレウス」の學位を與へたり且つ「マキステル」或は「ドクトル」の學位は「ハーヅアルド」「エール」及他の一二の「コレージ」に於ては更に二三年間教師の教授を受けて其學科を修業し最後に或る事業に従事して試験を卒へたる者には都て之を與へたり元來此の「ポスト、グラジュエート、コールス」なる者は「マギステル」或は「ドクトル」の學位を得んとする候補者の爲めに設けたるものなりと雖も前述の如く「コレージ」の教師は斯の如き候補者のために特別なる教授をなすへき時間を有せざりしか故に是れ亦毫も其利益を見ざりしなり

此故に各自の専門科を修めんと欲する者を外國に遊學するの一途ありしのみ而して斯の如き學生に適當たる組織の大學校を唯一の獨乙國ありしのみ

此の如きを以て數百千の亞米利加學生を毎年獨乙國に遊學するに至れり今尙米國「コレール」の博士と稱する者に於て多少嘗て歐洲の大學校に入りて修業せざるものは甚た稀れなり然れども右に述ふる如きは米國十五年以前の景況にして近來を其國內に於て高等の學科を修むべき便宜を得んと欲するの希望は漸次に増加し且遠く歐洲に留學するは費用莫大なるを覺知し加之「コレージ」の學科を漸次高尚に至り普通の豫備學校にては其學期の長きに過ぐるを以て人皆此時期を以て一専門學科を修むる爲めに應用せんとするの希望を懷くに至れり最初是等の希望を充たす旨意を以て實施したる方法は理科並行學科の設置なりき蓋し其

並行學科と稱する所以の者は理學を以て舊學科中の希臘語學に代へたるに由る爾來此法に據り「コレージ」中種々の新學科を設くるに至れり凡て學科を生徒の撰取する所ふ任をど雖も其一旦選取志たる學科を必ず之を廢止することを許さず且各種の「コレージ」に入るには各種の豫備科を修むるを要したり

マサチウセツ州ケムブリッジの「ハーヴァード、コレージ」を夙に亞米利加之高等教育法を改正すへき意見を有したり然れども斯の如き改革を施行するには先づ教員を増加し博物館書籍館化學室を増設する等苟も富有なる「コレージ」に非ざるよりは容易に其實効を收むへきにあらず又更に是より必要なる者あり新規の順序を施行し且つ之を主張すへき活機を斡旋し得るの人物是なり然り而して「コレージ」殊に米國を志て學術上の大進歩を爲さしめたること今日の如きは其効績獨りハーヴァート

の大學校長チャーレス、ウヰルリヤム、エリヲット氏に歸せざるを得ず氏の鋭敏なる夙に此大進歩をなすへきの時機到來したるを知り又氏か老練なる能く種々の困難を冒し財本を蒐め以て此大目的を達せんとを得たり元來合衆國に於ては政府より毫を學校に補助金を授與せざるの例なるに校長エリヲット氏か國人をして學校の利益なるを知らしめ其設立に必要な資財を寄附せしむるために遭遇せし困難は果して如何りや然るに學士エリヲット氏か校長に選れたる以來未だ十五年を経ずして人民より「ユニベルシテ」に寄附したる金額は無慮千二百萬「マルク」に及びたり而して今や此「ユニベルシテ」は人民より寄附したる資本金額千八百萬「マルク」の多きに至れり乃千八百八十二年に於ては此「ユニベルシテ」の資本金は百七十七萬五千「マルク」なりき蓋方今は「ボストン」人にして生前多少の金額を「ハーヴァート、コレージ」に寄附せざるものは死

す。とも。地。下。に。冥。目。す。る。能。は。ず。と。云。ふ。の。勢。ふ。至。れ。り。  
「ハーヴァルド、コレージュ」の他ふ超越したる所は種々の高等學科を設け生徒をして隨意ふ之を學ばしめ以て各自其好む所の専門學科を修むる階梯を得しむるよあり

此故に最後の三年間は全く自由に修學するを得しめ最初の三年間は其學課を確定するものとなせり「センチテン」「サンスクリット」「希臘」「羅甸」「英」「佛」獨、伊、西の諸語學、哲學、論理學、心理學、經濟學、史學、羅馬法、美術、音樂、算術、物理學、化學及博物學は各専門教師の講義を設け生徒をして隨意ふ之を聽講せしむ教師の員數は定員教授三十一人臨時招聘講師十三人助教十二人とす助教は多くは最初一年間の學科を教授し教授は高級學生を教ふ高級生徒の員數常ふ一千人ふ下らず其他「コレージュ」ふ附屬する二個の神學々校及法律學校、醫學校、齒醫學校、工藝學校、農學校、獸醫學校各一あり

故ふ此「コレージュ」は殆んど純粹なる大學校と稱することを得へし此學校の「アカデミー」部分即ち「コレージュ」の本科は恰も獨乙大學校の哲學科ふ相當す他の學科も亦略獨乙學校の教科ふ同じ唯其異なる所は入學試業の難易ふありとす

亞米利加に於ては「アカデミー」を除くの外入學試業は甚た容易なり之を要するに最初の一年は豫備學科を修むるものと云ひて可なり  
學生は毎週少なくとも十五時間の講義を聽かんことを要す何となれば毎年末に其講義を聽きたる學科の試問を受けざるを得されはなり「ハーヴァルド、コレージュ」に入學する生徒平均の年齢は十八年六ヶ月なり此生徒にして毎試験に及第するを得は二十二年六ヶ月に至て得業生の學位を得へし例へば千八百八十三年の九月に此「コレージュ」に入りたる生徒にして毎試業に落第することなければ千八百八十七年の六月には悉く卒

業して「コレージ」を出るを得るか如し

「ハーヴァルド、コレージ」は實に亞米利加高等學校中の最高位を占むるものと云へし然るに其の授業法は最初一年間全く書籍に依て教授し高級に至れば一部分は書籍に依り一部分は獨逸風の演説法に依るものなり其他亞米利加の「コレージ」及「ユニベルシティー」の教育委員は最近の報告に據れば其數四百に達すと雖凡て「ハーヴァルド、コレージ」の右に出るものなり或は學科の數少なく或は入學試験容易にして畢竟西南諸州の學校は其豫備門たるに過ぎざるなり素と「ユニベルシティー」なる名稱は米國に於ては實地學校の意義にして各種の専門學校に附するものなり故に法律醫學神學の諸「ユニベルシティー」あり而して「コレージ」なるものも亦多くは専門の學科を教へず之を卒業したる後は更に専門の學校に入り或は各自の職業を務め或は歐洲に留學して學校の教師となるへき學力を養

成せざるを得ざるものなり

一二の「コレージ」に於ては「ハーヴァルド」氏の模範に倣ひ既説の如く學科の範圍を擴張し其哲學科に至ては殆ど獨乙大學校の學科に同きに至れり

「コレージ」及「ユニベルシティー」は多く寺院或は人民の設立維持する所に係る即ち左の如し  
 ポストン府にある「ポストンユニベルシティー」は今を距ると十年前に八百万「マルク」の資本を以て建設したる所にして此金員は「メトージスチック」寺院の檀家たる二商人が金員を義捐し他の檀家も亦多額の金員を贈寄したる所とす

「ボルチモールの「ジョンズ、ホッキンズ、ユニベルシティー」は「ジョンズ、ホッキンズ」氏が學校設立の目的を以て遺囑したる壹千貳百万「マルク」の資本を

以て創設したるものなり

ヲハイヲ州のクレフェランドに在るケース氏の實用學校即スコール、フアツフライドサイヤンスは今より二十年前ケース氏か五百万マルクを義捐して設立したるものなり、アーデルベルト、コレージュも亦同府に在り是れストーン氏か四百十萬マルクを擲て設立したるものなり

ニウヨルク州イサカ府の「コルチルコレージュ」は下文に説述するか如き一種の官立學校にして即ち合衆國政府より土地を寄附したるものなり、此土地の廣さは壹百萬「エークル」にして其現價は貳千萬「マルク」なれども將來次第に騰貴する傾向あり加ふるにコルチル氏よりは三百万「マルク」或る博士の夫人等より壹千萬「マルク」を贈寄して設立したる所とす、ウエルレスリー女子「コレージュ」はマサチウセツツ州のウエルレスリーにあり或る二人の豪富か三百万「マルク」を寄附して建設したるものなり

「スミッスコレージュ」はマサチウセツツ州のノーサンプトンに在る女學校にして或る富裕なる貴女か百貳拾萬「マルク」を寄附して設立したるものなり、千八百八十年のみにても合衆國の人民より學校に寄附したる金額は貳千五百万「マルク」なり華盛頓府教育委員の報告に據れば是れ僅かに年々の平均寄附金額なりと云ふ千八百六十三年には合衆國政府より廣大なる土地を各州に寄附して農學校設立の資本となりたり一二の州に於ては此學校を創置するか爲に更に多額の寄附金をなす所謂「ユニベルシティー」なるものを設けたり此學校は「コレージュ」に農學校を合併したるものなり又他の諸州に於ては之に反して「スマーツ、ユニベルシティー」即官立大學なるものを設立したり而して其中心は皆元來「コレージュ」にして次第に專門學校を附設したるものなり然れども神理學の教課に至ては一も政府より設けたるものなり是れ米國よ於ては政府と寺院とは全く分離した

るものなればなり

「コレージ」を合併して種々の専門科を置くこと年一年より増加し凡て其名を「スクール」と云ふ即金石學「スクール」政治學「スクール」の如し「コレージ」の豫備門は其私立或は公立たるに從て「アカデミー」「セミナリー」或は「ハイスクール」と稱す通常「アカデミー」及「セミナリー」の學科に二種あり一は將來「コレージ」に入るへき必要なる學科を豫修するものにして他の各自の生計上に必要なる普通學科を教授するものとす公立の「ハイスクール」は自由學校にして通常「アカデミー」及「セミナリー」と同等の位置を占む故に亦「ユニベルシティー」に入るの豫備門なりとす共に皆其學科を二期に分ち前期は専ら古語學を教へ後期は主として普通學科を授く此普通學科に於ては希臘語學を教へす然れども羅甸語學は生徒をして隨意に修めむ

以上説く所は即亞米利加學校の組織なり今や我儕は此等の學校に於て政治學を教授する方法即本編の論旨に移らんとす

既説の如く凡て公立「ハイスクール」及「アカデミー」に於ては十二週間毎週四五時間合衆國憲法を授く然れども「コレージ」に入るへき豫備科を修むるものは之を學ぶを要せず何となれば「コレージ」の課業中にも亦合衆國憲法あるか故なり小學校に於ても亦合衆國憲法の講義を設け生徒をして隨意に之を聽聞せしむ近來諸州に於ては此學科をして其必修の教課となさんとするの議あり多くの「ハイスクール」即豫備學校に於ては三ヶ月間毎週五時間經濟學を授く「アカデミー」及「セミナリー」に於ても亦此經濟學科を授くるの方法を論せんか爲に或る「コレージ」を舉て例證となし他は唯其異なる點のみを舉げんと欲するなり

今其例證となさんと欲するものはマサチウセッツ州ウイルリヤムスト

インの「ウイリヤムス、コレージュ」是れなり該校に於ては十五週間毎週六時間經濟學を授く故に都合九十時間とす而して其最後の三十時間は温習の用に供す其教課書は彼の有名なるペレー氏エレメンツ、オブ、ポリチカル、エコノミー經濟原論なり是れ該校の經濟學の教師はエ、ユル、ペレー氏なるを以てなり而して學生の確定したる課程を踐み凡う半時間該書を朗讀したる後普通の論議をなす蓋し教師側より助言して其論議の缺を補ふの例なり

「コレージュ」の校長は多くは其校務を監督するの外に修身學古典、教會、史論、理學、心理學、經濟學及憲法の諸學科を教授す此の如き場合に於ては前五學科を以て休となし後二學科を以て用となす女子「コレージュ」に於ても亦經濟學及憲法史の課業に若干の時間を與ふ

「ウエルレスリー、コレージュ」に於ては別に英國憲法史の學科を置き十二週間毎週三時間宛之を教授す合衆國憲法史及經濟學にも亦前同様の時間を與ふ

を與ふ

マサチウセッツ州ノーサンプトンの「スミスコレージュ」は女子の爲めに設けたるものにして十二週間毎週經濟學三時間及政治學二時間を授く

此女子「コレージュ」の入學試験は羅匈語、英文、英文羅匈譯、歷史、希臘語、英文、英文希臘譯、歷史、其他數學、平方、幾何、代數、算術とす現に此試験を経て入學したる女學生二百四十人あり東部の諸州に於ては通常の「コレージュ」には女子の入校を許さざるか故に此「コレージュ」を設立したるものなり「コレージュ」に因て學科用に供する書籍甚一様ならずミル氏の「プリンシプルス、オブ、ポリチカル、エコノミー」、フヲウセツト氏の「エレメンツ、オブ、ポリチカル、エコノミー」、ペレー氏の「ポリチカル、エコノミー」及ウエラン氏の「ヒーカスト、バイチャンピ」等あり其中ペレー氏の經濟書最も廣く行はるウエランド氏の經濟書は近年に至りて多く用らるゝものなり

亞米利加人にして保護稅主義を執る者は常に書籍の苦情を訴へて止ま  
 ざるなり何となれば凡て米國の經濟書は自由貿易主義ならざるものな  
 ければなり亞米利加コレージュの經濟學教師中能く保護稅主義を執り能  
 く其思想を擴張し且保護稅主義の教課書を用る者は僅に指を屈するに  
 過ぎざるなり

然るに實際家の舉動如何を顧れば諸學校の教師を嘲笑せざるもの寡あ  
 り此等の教師を凡て英國の自由貿易主義の浸潤したる者なり

凡う亞米利加の經濟學教師は多く其慣用の書籍中にあるものを除くの  
 外他に經濟の理を知らずと謂ふも誣言にあらざるなり何となれば是等  
 の教師は深く其學術を講究すべき時間及其機會を得されはなり曾て一  
 時間にててもカリー氏の教育を受けたる者は甚た少く又佛蘭西或は獨乙  
 の經濟書を読みたる者は殆どなると云ふも可なり唯獨逸の經濟書に

て近時亞米利加に於て英文に繙譯發刊したるものはワースト氏の經濟書  
 第一版にして其他は三四年前に翻譯したるロツシエル氏の大經濟書の  
 第一卷のみ

米國コレージュの教師中獨乙或は佛蘭西書を読み得るもの甚た少く唯  
 下文に舉る所の諸學校に奉職する教師にして獨佛二國に留學したる者  
 あるのみ下等學校に於て用ふる經濟書はフハウセツト氏の小經濟書ジ  
 エブラン氏の「プライコル、オブ、ポリチカル、エコノミー」マーソン及ラロー  
 ル氏の「ポリチカル、エコノミー」等にして之を要するに皆な過激なる自由  
 貿易主義の書籍ならざるはなからず以上説く所は諸コレージュ普通の景況な  
 り今や我儕は更に二三のコレージュに就て詳論する所あらんとす

マサチウセツツ州のアムハルストにある「アモハルスト、コレージュ」は第四  
 年生には十二週間毎週六時間經濟學を授く此學科の過半は英文翻譯口



ツシユル氏の經濟書を講讀せしむ

合衆國憲法史は十二週間毎週四時間の授業にして同毎週三時間政治學を授く授業法は教課書を通讀し且講義を授くるにあり

ニウ、ハムプシアイル州ハンノーブルの「ダルトマウス、コレージュ」に於ては

四年生に四十時間經濟學及憲法を授け三十八時間國際法を讀ましむ

コンネクチカット州ニウ、ハーウエンの「エール、コレージュ」は入學後第四年

に至りて二十週間毎週三時間經濟學を授く教課書はミル氏及フハウセ

ット氏の經濟書を用ふ其授業法は該書を講讀し講義を以て其足らざる

所を補ふものなリケルン氏の「サム、リージング、プリンシプルス、オブ、ポリ

チカル、エコノミー、ニウリー、エキスパンデッド」の講讀は第四年後期生を

して隨意に之を修めしむ其他經濟學及財政學の實地應用の部分國際法

及政治學等の課書「ポハスト、グラジュエート、コールス」のために設けたる

特科とモ米國及英國憲法の講義に至りては「アンタル、グラジュエート」或は「ポスト、グラジュエート」の學生たるを問はず凡て之を聽聞するを得へし「エール、コレージュ」に於て政治學の教授を司とるものは米國紙幣歴史の著述及保護稅説家の敵視せる彼有名なる博士サム、チル氏なり氏は執拗なる純粹の經濟學者にして亞米利加に在る反對論者は氏か劇烈なる論鋒に挫折せられたるものも亦多しとす博士サム、チル氏も亞くへきものは博士ペンリー、フハルナム氏もして氏は「エール、コレージュ」と共通したる「シェツフヒールド、サイエンチフィック、スクール」に在り教課書或は講義を以て經濟學を教授す

ニウヨルク州イサカにある「コルチル、コレージュ」の校長は曩ふ合衆國の公使として伯林府に駐紮したるアンドリュウ、シホアイト氏なり十二週間毎週二時間警察學三時間理財學及政治學五時間行政學を教へ四十週間毎

週二時間經濟學を授く此他英米兩國憲法の講義を聽かむ「コルチルコレーシ」の教授法は大に他に異なるものなり例へば經濟學及歴史ふ於ては各其專務教師を置くに雖其餘の教師は凡て他の「ユニベルシティー」より一學科或は一部分のためは招聘し通常十時間乃至二十時間時としては更に長く其教授を依頼するを以て此學校の學生たるものは居ながらにして有名なる諸學師の講義を聽くを得へし獨逸國の大學校に於て或る大學校の學生は他の大學校を巡視するを得るの便利あれ共米國の「ユニベルシティー」に於ては其學生をして在校中修學の爲に「コレーシ」を訪はしめざるを常とするか故に頗る緊要なるの方法なりとす「ジョン・ホツキンス・ユニベルシティー」はボルチモール州にあり其經濟學の授業は二學期即ち一年間にして第一學期は毎週五時間理論的經濟學を授け第二學期は毎週五時間應用的經濟學を授く其他半年間毎週三時間

財政學を修めしむ其授業法は學科に従ひて各同一からす理論的經濟學に於ては教課書を用ひ専ら問答法に依る他の學科にありては殆ど講義のみを用ふ此「ユニベルシティー」の經濟學は「ハイデルベルグ」の哲學生「アル・チーイリー」氏之か教師たり

該「ユニベルシティー」と共通したる歴史學政治學の一協會あり學士「ヘルベルト・ピ、アダムス」氏其事務を管理し以て歴史學及政治學の進歩に盡力す氏は此事業に就きて殊に「ユニベルシティー」の碩學大儒の贊助を希望せり又氏は特に意を米國の憲法及經濟上の歴史に注ぎ且此學術に關係する多數の書類を世に公にしたり此等の書籍は該協會々員及外國諸専門學者の著述したる處とす米國の法律史に關するものは既に出版したるもの多し故に該協會は種々の方向に於て效益寡からざるを表したり

「ジョン・ホツキンス・ユニベルシティー」は純粹なる亞米利加組織の學校と

謂ふへし此學校は専門學を修めんとする「ポスト、グラジュエート」學生の爲に今より凡う六年前に設立したるものにして「ポスト、グラジュエート」にあらざる學科は其後に設けたるものとす今日までに入學したる學生の總數は四百四拾九人にして其貳百七拾五人は「ポスト、グラジュエート」課の學生にして百七拾四人は他の學生なり既に二百七拾五人の高等學生中の百人以上は「ユニベルシティー」「コレージュ」或は「セミナリ」の教師となりたり該校に於て豫備科を終りたる學生にして本年他の「コレージュ」得業生の學位を得たるもの九十九人あり此「ユニベルシティー」の校長は學士ダニエル、シルマン氏にして米國高等學校に功績ある人なり

マサチウセッツ州ケンブリジの「ハーヴァード、コレージュ」に於ては二學期内二十週間毎週三時間「ミル」氏の經濟書を授け同三時間米國理財史を

授くケールン氏カリイ氏及他の經濟學士は四十週間毎週三時間經濟學の講義をなす其他一年間毎日一時間借地法を授く此學校は殊に開明諸國の法律史を講究せんと欲する學生に適するものなり凡て該校の學生は法律學の講義を聽聞するを得へし博士シイ、イ、ダムバル氏外二人の教師は經濟學の教授を掌る昨年中學生の員數は一級生百四十七人二級生三十二人三級生九人なり凡て此學校を卒業したる後法律學研究志願の者は在校中少なくとも四十週間毎週三時間經濟學を修め且最後の學期には多く歴史を學ぶものとす

此他尙詳細の監察を下すへき學校三個あり即一は「ミシガン州の官立」「ユニベルシティー」は「紐育府」「コロムビア、コレージュ」は「フ井ヒラデルフ井ヤ州」「ペンシルウアニアノ」「ユニベルシティー」と聯合して設置したる政治學專門學校是なり而して其「ペンシルウアニア」にあるものは此學校設立資本

金を寄附したる人此名に従て「ワルトン、スコール、オフ、フアイナンス、エンド、エコーノミー」と稱す

此三箇此高等學校此組織等は各同一からず殊に米國に於て政治學を教授する専門學校此嚆矢とも云ふべきものは「ミシガン府此「アン、アル、ホル」此官立「ユニベルシテ」と聯合したる政治學専門校にして千八百八十一年の秋創置する所に係る此學校は元と其學科を四教科に別ち授業時間等左の如くなりし

(壹)政治史及憲法史

- (一)普通英國史 顯理第四世即位より拿破崙戰爭の終に至る 毎週二時間 二學期
- (二)亞米利加殖民政史 千六百七年より千七百八十三年に至る 毎週一時間 一學期

(三)北米合衆國憲法史 千七百七十六年より千八百六十年に至る 毎週二時間 二學期

(四)季滯生建國史 毎週三時間 一學期

(五)中古開明史 毎週二時間 一學期

(六)政治史 毎週三時間 一學期

(七)英國政治憲法史 毎週四時間 一學期

(八)歐羅巴史 千五百年より千七百八十九年に至る 毎週二時間 一學期

(九)合衆國政治憲法史 毎週三時間 一學期

(十)歐米地方制度 毎週二時間 一學期

(貳)經濟學

(一)理論的經濟學 毎週三時間 一學期

(二)應用的經濟學 毎週三時間 一學期

- (三) 財政學 每週二時間 一學期
- (四) 財政學溫習 一學期
- (五) 探礦學 每週一時間 一學期
- (六) 森林學 每週二時間 一學期
- (參) 社會學衛生學及教育學
- (一) 社會學(貧困犯罪等) 每週二時間 一學期
- (二) 衛生學 每週二時間 一學期
- (三) 教育史 每週二時間 一學期
- (肆) 憲法、行政法及國際法
- (一) 政治道義學 ボリチカルエシツクス 每週一時間 一學期
- (二) 憲法 每週二時間 一學期
- (三) 賦稅法及徵稅權 每週三時間 一學期

- (四) 府政法 每週二時間 一學期
- (五) 國際法 每週二時間 一學期
- (六) 今代外交史 每週二時間 一學期

此學科の類別法は必しも判然たらせしめて種々の教科に交渉する學科多きとを見るへし然れども教師は各其課業區域を確定して他の「學科」の區域を侵すとなく「ユニベルシテ」に於て最初の二學年を卒業したる者にあらざれば入學するを許さず故に學生の年齢は凡て二十年以上なり「ドクトル」の學位を得るは粗ぼ卒業生の大學校に於るか如く三ヶ年の學期を経たる後ち大著述をなし試験論文を作り一本課及二副課の口述試験を受くるを要す第二ヶ年の課業を卒りたる者には「バツチエロル」或は「マスター」の學位を授く亦皆口答の試験を受け「マスター」の試験に於ては筆答の試験をも受くるを要す凡て學位を受けんとする候補者は必其各學

科を授くる教場に入りて講習せざるを得ず若し之に背くときは懲戒法に據りて處分せらるゝものとす

該學校の授業法は一部は講義に依り一部は温習を以てす例へば三時間の經濟學なれば其二時間は教師の講義にして一時間は問答質義を爲すか如し

前記の諸學科は該「ユニベルシティー」に在るもの凡て之を聽聞するを得へし特に政治學科を脩むる者に限らざるなり然れ共學生の數は較く少なく常に二三十人の間にあり女子も亦男子と同一なる規約を以て此講義を聽くとを得へし其謝金は頗る廉にして「ミンガン州」の者は最初一年間に三十弗次の二ケ年に二十弗宛を出し他州の者は初年に五十弗後ち二ケ年に十五弗宛を拂ひ「ドクトル」試験を受くる者は更に十弗を出す此金額は一學科を修むると數學科を修むるとを問はず學生たるものは凡

て納めざるを得ず

書籍館あり典籍の員數甚多からざるを採擇宜しきを得たりとす凡て學生は午前九時より午後五時迄及午後七時半より九時迄縦覽するを得へし其他或る一豪商か「ハイデルベルグ」の學士故「ラウ」氏の私立文庫を購求して寄附したるものには貴重すへき典籍甚多しとす

紐育府の「コロンピヤ、コレージュ」に連合したる政治學校も亦前學校の如く脩學年限三ケ年にして「ドクトル」の學位を得るには必ず之を卒業せざるを得ず其異なる所は「コレージュ」の第三年課業を終りたるものに非されば入學を許さるにあり課程は豫て確定し學生たるものは必其順序を追はざるを得ず

該學校の教則時間等左の如し

第一年

第一學期

學科

每週時間の數

米國政治史、人種學、憲法史

四

英國憲法史(千六百八十八年に至る)

二

經濟史

二

政學史(プラトール以下ヘイゲルに至る)

三

政學志錄

一

第二學期

合衆國憲法史

四

英國憲法(千七百八十八年以降)

二

財政學

二

政學史(プラトール以下ヘイゲルに至る)

三

政學志錄

一

第二年

第一學期

羅馬法律

六

歐米諸國比較憲法

三

統計學方法及成績

二

第二學期

歐洲開明國比較憲法

六

亞米利加諸國比較憲法

二

統計學方法及成績

二

第三年

第一學期

外交史

國際私法

歐米開明諸國比較行政法

社會學

第二學期

國際公法

國際私法

米國諸洲比較行政法

社會學

二 一 五 二 一 二 二 五

學年末には其年内に脩學したる學科の試験を受くるを要す此試業に落  
第したる學生は次學年の級に進むとを許さず最初の年末試験に及第  
たる學生には「パツチエロル、オッフヒロソフヒ」の學位を與ふ「ドクトル」

の學位を得るには三ヶ年間修業したる後論文を著し及口答試験を受  
くべきものとす經濟學科は學生が専門科に入る以前「コレ」に於て講  
習するを常とす授業料は甚多額にして學生は毎年百五十弗宛を拂ふ授  
業法は講義及温習に依ると猶獨逸國の學校に於けるか如し法律史及經  
濟史を以て主眼となすか故に歴史學生には最利益多しとす千八百八十  
二年及三年には第三年生四人第二年生五人第一年生十九人なり凡て  
此等の生徒は成規の學期を履み「ドクトル」の學位を得んと欲する候補者  
なり其他此學校の講義を聽聞する學生甚多かり是凡て法學生に聽講  
を許したるか故なり年々十萬マルク以上を消費し得るの資本金なり  
此學校と聯合したる政治學の「アカデミー」あり亦其結果を收む此「アカデ  
ミー」は「ユニベルシティー」の校長法學及政治學校等の職員が義務として協  
力する篤志協會と謂ひて可なり凡て政治學校を卒業し加るに二ヶ年間



同校に於て法律學を修めたる卒業生は何人にてても此協會に入るとを得へし此故に「アカデミー」は年々改良進歩の途に就くものなり該校の目的は政治學の蘊奧細微を極めんと欲するにあり故に此協會は該學校の中心と謂ひて可なり何んとならば該學校の進歩功績は畢竟此協會にありはなり此協會は元來一定の望を達したる後は忽ち退去して自己の活路を謀るか如き烏合の學生を以て組織したるにあらす駭々として進歩を期する學士の終身會員よりなるものなり凡て該學校が現今の如く政治の智識に富むは此協會の力に依るもの多し凡て此協會員は毎年其學事に勉強し其爲し得たる所は該「アカデミー」に於て演説せざるを得ず此演説の草稿は凡て協會の所有品となり該會員に於て有益なりと認定すれば協會之を刊行す其他該協會は政治學に屬する書籍目錄を編集し政學新誌を發兌するを以て目的とするのみならず此協會を政治學士及歴史學

士を出すの淵源を爲せり故に學規鞏固にして能く其範圍を擴張し其企圖を施設するを得へし其詳細を知らんと欲せば須らく千八百八十二年「コロンピヤ」の「コレージ」の教師「シエダプリユブルゲッス」氏の政學雜誌を見るへし

此「アカデミー」の吏員は多くは紐育府の住民にして代言人若くは民間の學士なり該「アカデミー」の有益なるは政學講義聽聞者の日に月に増加するを以て知るべきなり既説の學科の外一學一科に有益なる學士三名を他より招聘して毎學年二十時間以上の演説をなさしむ是等の講師は凡て他の「アカデミー」の學士に各三ヶ年間の約定を結び年々報酬金五百弗を給するものとす學科は各講師の選ふ所に任す凡て有益なる書籍を購求して此文庫を富裕ならしむることに注意するか故に貴重なる書籍類を集蒐したるは既に多し又該學校の學士は紐育府の公立書籍館には隨意參

觀するを得るの便益ありとす

第三の専門學校は前記の二校に異なり其名を「ゼホワルトン・フハイナンス・スクロール」と曰ふ費府の篤志なる豪商「ジョツフ・ホワルトン」氏か四十万「マルク」を投じて「ユニベルシテ」より分離獨立せしめたる一學校なり殊に注目すべきは經濟學及行政學に用ふる時間なり修學年限は現に二箇年なれ共蓋し遠からずして之を三ヶ年となすへし二ヶ年以上他の「コレージュ」の教課を経たるものにあらされば入學を許さず故に學生の年齢は平均二十歳なり此専門學校に於て二ヶ年の學科を踐みて卒業したるものには「パチエロルフ・フハイナンス」の學位を與ふ「ドクトル」の學位を望むものは尙三箇年間修業せざるを得ず凡て學科は必修のものにして獨乙語及佛蘭西語も亦必修學科に屬す其課程左の如し

第一年

第一學期

經濟學理論の部

每週五時間

政治學

每週五時間

第二學期

商工史

每週五時間

政治道義學

每週三時間

第二年

第一學期

理財學及歐洲財政史

每週五時間

經濟學(應用の部)

每週五時間

商法

每週五時間

第二學期

米國財政史

每週五時間

行政學及統計法

每週五時間

商法

每週五時間

憲法

每週五時間

授業法は或は講義に據り或は質義及温習を用ふ其何れを選むは教師の隨意に任するものとす其科目表に従へば經濟學及理財學は一ヶ年間毎週五時間にして行政學は半年間毎週五時間とす該校經濟學教師はアル、イー、トムプソン氏にして氏は「ソシヤール、サイヤンス」及「ナシヨナル、エコノミー」の著述を以てカリール氏第一の高弟たる名を得たる者なりペ  
ンシルウアニヤの「ユニベルシティー」は米國中經濟專門學上最良の書籍を有す此書籍館の基礎は費府の豪商スチーフハン、コルウエル氏か私有文庫の政治書八千餘部を寄附したるに起り倫敦府のエム、ケルモント氏も

亦三千餘部の英國小冊子を寄贈したり此冊子類は千六百九十年より千八百六十年までの刊行に係り年代を追て結束表装したるものとす彼有名なる米國經濟學士ヘンリー、カリール氏も亦其饒多なる私有文庫を寄附したり加るに該「ユニベルシティー」に於ては常に此書籍館の盛大を謀り有用書籍の集蒐を怠たらざるなり然り而して以上三學校の互に同一からざる諸點は容易に發見するを得へし即「シンガンの學校」は史學博士アダムス氏之を創設し史學の諸教師は殊に優等なりしを以て歴史科は他の學校に凌駕す「コロムビアの學校」は法律史博士ジョン、ダブリ、ブルゲツス氏校務を幹するか故に史學的法律科は他校の及ばざる處とす又理財及經濟の二學科に至りては費府の「ホルルトン」學校更に他校の上に出つ此學校を幹するは米國財政史を以て有名なる碩學エ、エス、ホル、レス氏にして氏は曾て合衆國財理史を著述し又現に紐育府「バンケンス、マガヂ

この記者なり該校に於て商法及商業學を教授す  
 此等の學校に關する問題にして尙一言せざるべからざるものあり即專  
 門學は各特別なる學校を設けて教授するを以て益ありとするか或は獨  
 乙大學の如く神學、醫學、法律學生を除くの外理<sup>フヒロソフヒ</sup>課生と稱し一學校に總括  
 して教授するを以て利ありとするかの議論是なり米國の學士にして分  
 離主義を執る者の主張する説は概ね左の如し  
 各學科を分離せしめ特別なる學校に於て教授すれば公衆の眼は直接に  
 國家及人民に關する諸學の盛衰興廢に注くを以て大に學生をして其方  
 向を定むるの針路を發見せしむるの便あり又一科專修の學校を設立す  
 るか爲に資本金を募集するは彼の理學校を設立するの資本金を募集す  
 るの難きか如くならざるなり加るに直接に國家及人民に關する學科の  
 みを分離せしむるは彼理學校の如く學業の目途分離せざるか故に教授

も自から完全にして衆教師は力を一途に盡すとを得るの益ありとす  
 是に由て之を見れば米國人は政治學のみを教授すべき専門校を設立せ  
 んとに熱心するもの多きを知るへし前記の學校の外「エール」シヨンス、ホ  
 ツキンス、殊に「ハーウアルド」の「三」コレージュも亦此等の諸學科を專修する  
 の好機會を得るものと謂ふべきなり  
 將來此等の諸學校の盛衰興亡如何を今日より豫言するは速了に失する  
 の恐なきを得ずと雖我儕の見るところに於ては向後斯の如き組織を有する  
 學校及學生の増加するは頗る期し難きものありと謂はざるを得ず何と  
 なれば現に此等の學校の課程を卒へたる者の身を立つべき位置は唯學  
 校教授の職あるのみにして其需要も亦甚廣からざるものなればなり政  
 府の官吏たらんとするには毫も登用試験を要せず故に此等の學校の教  
 育を得て登用試験を受くるの羈絆あるとなし然とも政治家を以て自か

ら任し或は政談新聞の牛耳を執らんと欲する者に便なるは問はずして明白なりとす然るに政談家或は新聞記者を以て速かに自活の道を立んと欲する者は此等の學科を便益として進歩せしめんと欲する者と其目的實に霄壤の同一からざるものあり學生は概して立身に汲々として速に世に立んとを熱望し其高等學校に入て學ふべきの學科は一旦學校を退きたるの後執業の間を以て自修し得へしと確信するか故に現在の景況にては此等の高等學校の教育を受る幼年學生の員數頗る寡少なりとす米國の年齢次第に長し人口蕃殖するに至れば經濟上及行政上の問題次第に繁雜錯雜となり行政官吏等の才幹を養成すると益緊要なるに至るは自然の數なり此故に我儕は今時に際して法律學を教ふる旁に經濟學及行政學を授くる學校を設けて後來の立法家たる法律學士を養成するは他日大に鴻益ありと信するなり

我儕は米國に於て政治學の講習をなすの景況を詳論せんと欲するものなれば學校以外の景況にも亦論及せざるへからず故に先づ米國の官吏よりして之を論すへし米國の官吏は概して専門の學科を修めたるものにあらざるも職務上の經驗に由て經濟學科たる學職の必要なるを發見して之を學ぶに汲々たる者甚多し故に政府官吏の報告書中にも亦貴重すへき新奇なる學術的問題談話等を記載して我儕を満足せしむるもの多しとす更に眼を轉じて民間の學者社會を見れば米國は甚學者に富み我儕か利益を得るとも亦寡ならず此等の學者は父祖の遺産或は自己の勞力を以て享有し得たる富豪多きか故に其生計に齷齪せずして一心を學術に傾け得るの餘裕あり而して此等學者の主として研究するものは即政治學科とす米國新聞は學術に關するもの多からずと雖新聞記者にして著述家を兼ねたるものは其新紙上に於ても亦學術上の問題を掲

け斯文に裨益するものも亦少なからず米國に於ては諸新聞紙の世間に勢力を有すると他國の比にあらず是同國に於ては貴賤を問はず貧富を論せず皆新聞紙を購讀せざるものなきを以てなり諸新聞紙は經濟の問題に關する一欄を設け有益なる事項を掲載す米國には元來「コンラード」年報の如き經濟専門の新誌なきと雖亦「ノース、アメリカン、レビュー」「プリンストン、レビュー」「アトランチック、モンスレー」「センチユリー、マガゼイン」「リッピンコッツ、マガゼイン」「インテルナショナル、レビュー」等の如き新報多し好んで時事輿論を掲げ又屢々貴重なる學術の問題に關するものを載す近頃紐育府に設立したる一大協會あり茲に特書すべきの價值あるものとす即米國諸方の縉紳輩の私立協會にして其名を「ナショナルサイクソロジー、ポリテカル、エジュケーション」と稱す該協會の目的は國內經濟政治の諸學を興起擴張せしめんとするにあり且各種の學校と聯

合し或は全く之と關係なき支會を米國內の各市府村落に設置し専ら政治學を研究せしめんとを期す而して此支會の會員たるものは其委員か選定したる所の書籍を購求し毎週一二回宛集會し課程を確定して此書籍を購讀するの義務あるものなり又此等の支會に於ては能辯の學士を選み大演舌會を公開して協會の意見を代表せしむ協會創業二ヶ年間に委員か選定したる書籍左の如し

## 第一年

ペリ、著「エレメンツ、オブ、ポリテカル、エコノミー」

グラハム、マツク「アダム著「プライマル、オブ、フハイナンス」

ノルドホフ著「ポリテックス、フォー、ヤング、アメリカンズ」

ジョンストン著「ポリテカル、ヒストリー、オブ、ゼ、エーナイテッド、ステーツ」

## 第二年

ミル、著「エッセー、フン、リベルチー」

フランキー著「ヒストリー、オブ、ポリチカル、エコノミー」

ジエブロン著「モニー、エンド、メカニスム、オブ、ユキスチュンジ」

第一年に選定せる第二書は紙幣論第三書は國民の特權義務を説きたるものにして其第四書は合衆國立法史なり而して此協會に於ては絶えず時事及輿論を記載したる書類を公刊す昨年中協會の規則に従ひ書籍を購讀する會員無慮六千人あり之を要するに該協會は即政治學を研究すへき一種の豫備學校と見做して可なり該協會か世に裨益を與るの廣大なるは報告者たる余か經驗して保證する所なり該協會に於ては盛大なる師範學校と共約して一支會を設立したり故に該校の吏員は盡く協力勉強して學校の發達を謀るを以て後來其結果を得んと期して俟つへきなり

公益を謀るを以て目的とする第二の協會は「チャトウカ、リテラリー、エント、サン、エン、チ、フ、ロ、ツ、ツ、サル、クル」なり是亦多數の縉紳輩を以て組織せるものよして専ら文學及學術を獎勵す該協會は此目的を達せんか爲に前の紐育府の協會と同一なる方法を用ふ故に是亦一大豫備學校たり學科の課程を確定して每期試験を施し最後に卒業證書を與ふ昨年中會員の數五万人以上ありたり其學課中にも亦經濟書の講讀あり故に亦經濟學の進歩發達を謀るものと云へし我儕は茲に筆を闇するに當り尙注目すへきの一事あり即ち他にあらず米國諸學校の夏期休業は頗る長くして通常八週日乃至十二週日とす此休業中徒に時日を消費するを好まざる教師は各地の湯治場に至りて各學科の專修學校を設立す就中經濟學最多し此等の夏期學校は實に碩學鴻儒の聚合點にして諸學校の良教師は勿論平常は教育に従事せざる民間の學士も亦多く來遊して其智識を

授與し大に政治學の擴張を謀るものなり  
 以上説述する所に據れば我儕が本編の最初に於て政治學を講修するの  
 博きは諸國能く米國の右に出るものなりと評したるの誣言にあらざる  
 とを知るべく又斯の如く學術を研究し書籍を出版し致々として止まら  
 れば米國の大に將來に望みあるとを豫知するに足るべきなり

桑方西斯哥府繁昌記

桑港は亞米利加合衆國の西海岸に位する加里福爾尼亞州の一大良港に  
 して灣内恰も新月形をなす東洋及歐洲より來航する船舶は黄金門ゴールデンゲートを經  
 て數個の燈臺の下を過ぎ當港に輻湊す市街は平坦の地僅かにして只海  
 岸に沿ひたる一部分のみ其他は概ね沙漠或は丘陵の地多し廣袤殆ど日  
 本の横濱港に同じ道路は四通五達四通五達の筋道甚た多し第一の大通りをマー  
 ケット街とす車道人道の別あることは我東京の銀座通りの如し車道の

廣さは大凡そ廿四五間往復の馬車レールあり又ケーブルカートケーブルカートと稱する  
 鐵道あり之は馬匹を用ひず蒸氣力を借りて市街を往復する者なり人道は  
 三間餘にして青硝子を布きて地底へ光線を引く仕掛なり又た、きにし  
 たる所もあり或は敷石を用ひたる所もあり車道は大抵丸石或は煉化石  
 を敷きつめ裏町と雖も角の石材を敷けり市街の如何なる道筋と雖鐵道  
 馬車の往復せざる所なく市中にて諸物品を運搬するにも皆馬車を使用  
 し其他撒水者或は道路掃除者等にても日本の車力或は土方人足と稱す  
 る者の如きも悉く馬車を用ひ日本人の如く肩にて物品を負搬する等の  
 如きは小生の未見ざる所なり従て日本國にて現に使用する人力車或は  
 荷物車等の如きものは絶てあらず所なり而して當市街の家屋は三四  
 階は普通の建物にして五階或六階七階乃至八九階の大厦高樓巍然とし  
 て雲際雲際に聳ゆる新來日本人の目には一驚を喫するをなきにあらず大概は



木材を用ひたる建築法にして中には煉瓦造も随分見受けたり又鐵製の家屋もありて日本人の目には新奇なる造り構へを見受けたり家屋の外観は日本の外國人居留地の如き只方形の建物にあらず何れの家屋にても屋上には即ち望火櫓或は計風器(風力の強弱を算測する器械なり)等を据置き其測面には山水花鳥の塗繪を顯はし實に是計りにても其室内の美麗を推すに足るへし彼の世界第一の有名なるパールのホテルは九層の高樓にして一戸の廣さ方一町を塞けり桑港市中の往來には便所の設けあらず故に日本人の内には随分困却を感ずることあり若し他出て中途にて兩便の催すとある時は己を得ず歸館す迷惑至極のことあるへし折角用事の爲めに外出して右等の困難に逢遇したる人は氣の毒千万のとなり地理に明るき者或は交際の廣くして當地に永らく滞在せし者は知己の會社或は旅館の雪隠を借りて用を便すれども土地不慣の者など

は咖啡店に入りて五錢を拂ひ一杯を飲みて其序に使用を達する等は余輩の數々見聞する所なり市中には井戸一ヶ所もなし又各自の家内にもあるとなし桑港市民の飲水は海水を蒸溜して管中に通せしむる方法なり此等の具合は我日本の瓦斯管と同様の仕方にして分配するなり故に桑港府の地底は飲料水管濁水管瓦斯管等縦横斜交し地上には鐵道馬車ケーブルカート等の軌道横行し空中には電信線電話線等恰も蜘蛛の巢の如く人民の富盛なる商工業の活潑なる余輩東洋人の驚嘆措く能はざる所なり

市中の商店は鍛冶工はいふに不及温飽粉屋咖啡屋等其他小屋造りの商店にても蒸氣罐を据置き店頭に於て之を製し直ちに之を販賣するには驚きたり薪屋の店にも蒸氣機關を据置きて木材を一尺位宛に切り店頭にて之を賣捌けり

氣候の事

當港の氣候は暑中(即ち八月下旬暑氣の最中)と雖も日常着用する衣服は羅紗裏附のものにて胴衣ズボン上着三枚なり次は木綿の白シャツ即俗に飾りシャツと稱する者一枚次に金巾のシャツ一枚及びズボン下等に之を着用するも別段に暑くと思ふなどは先づなきことなり殊に雨天の節或は曇天等の時は少く冷氣を催し尙一枚のシャツを要するにあらざれば冷氣を感じる位なり最も他に勞働するとき杯は上着コートを脱するなり然れども朝夕は外套オーバーコートを着用するを通例とす近頃は毎朝或は毎夕共に晴雨に關らず大霧にて二三丁前の家屋は爲めに朦朧として明瞭ならず又當時は雨氣少なり

桑港物價の事

當時桑港の物價は左の如し

	旅籠料	一日分	下等	米貨	貳弗
同	同	一日分	同	同	三弗より四弗迄
同	同	一日分	同	同	五弗より五十弗迄
同	同	一日分	同	同	一弗
同宿泊料	一日分	同	同	同	一弗二十五錢
牛乳	一合半	同	同	同	五錢
牛肉	ロース上等	同	同	同	五錢
水瓜	一個	同	同	同	十錢
甜瓜	一個(南瓜位の大きさ)	同	同	同	五錢
玉蜀黍	四五本に付	同	同	同	五錢
葡萄	五十粒に付二房半	同	同	同	五錢
林檎	五六個	同	同	同	五錢

鶏卵 二個 全 五錢

右の物價も時々變動ありて一定の價格を保つこと能はされども差ゝる亂高下あると稀なり當地は總て物價の高直なるにも關はらず我東京と比較して低價なる者は菓子類料理品金銀を鍍金メッキする裝飾品酒類等にて高價なる者は煙草絹類是は二三倍も高直なり陶器漆品等なり

通用貨幣の事

當地の通用貨幣は五錢十錢廿錢廿五錢五拾錢壹弗等なり其餘は略之桑港にては五仙以下の物品なすと云も不可なきか如く故に坊間販賣する處の物品を一纏にして五錢の價なき者は三個も四個も纏めて五仙の代價を附するを常とす故に當地には五仙以下の端錢なり我日本にては極めて微少の厘毛を算用上或は物品賣買上に用ふる事なれ共當地にては何百何十萬弗の賣買あるも日本の如く算用上は何圓何錢何厘何毛と不

便利至極の計算なきか故に會計整理上に時間と手數とを省きて甚だ簡便なることなり

當地にては物品を販賣するにも總体日本とは異にして壹個何錢と云ふにあらすして二拾錢にて何個三拾錢にて何個と云ふか如く湯錢は一人前通例貳拾五錢にして三拾分時間を限りとす故に長湯の習慣ある日本人には大に困難の事なるへし然れども下等は二拾五錢にて二度浴するを得へし散髮料鬚剃料はいつれも下等二拾五錢つゝなり桑港に於ては物價の低廉なるものは至て稀にして其高價の物品に至りては我々日本人の嘗て聞かざる至高の者あり然れども當國人は一般に富裕なる者多きか故に一時に五萬弗の物品を購求すると杯は何とも思わぬ様に見受けたり

ゴールデンゲート福音會止宿所規則

第一條 當福音會中に設置する止宿所は第一會員第二都て日本人の便利を保護するものにして素より一般營業の宿屋と同一のものにあらず故に當所に止宿する者は堅く此規則を遵守すへし

第二條 會員は何時にても自由に止宿するを得へし

第三條 總て止宿を望む者は先づ當會取締の許可を受くへし

第四條 止宿を止めたる者は必ず其趣を取締に告げ置くへし

第五條 何事にても止宿中取締より請求する事は決して違背すへから

す

第六條 當止宿所に止宿するものは左の規定に従ひ止宿代金前金にて嚴重に取締に拂ふへし

一夜十錢 一ヶ月 貳弗

第七條 會員外の止宿を望む者は左の定價に従ふへし

一夜十五錢 壹週間 一弗 一ヶ月 三弗

但し地理不案内の者にして一時困却するものは此限にあらす

第八條 止宿するものは各日交代して室内を清潔にすへし

第九條 當止宿所に於て朝夕起臥すへき時限左の如し

一 午前七時以後臥床するを許さす

二 午後十時以後十二時前必ず臥床すへし

三 若し病氣にて臥床する者は此限にあらす

第十條 當會の門戸は午後十一時限り閉鎖し且室内の燈火を消すへし

第十一條 誰にても午後十一時以後に来るものは取締の許可を得たるものか又は不得止事故あるものを除くの外室に入ると又は止宿するを禁す

俱樂部通則

第一章 大意

第一條 當クラブは専ら在カリフォルニア州の日本人より組織し内は相互の利益を計りて其交誼を親密ならしめ外は異邦人に對して我日本人の位價を高むるを目的とし救濟法を設けて不幸者を援け貯金法を立て、會員の資産を富まし体操場を置て會員の体育を進ましめ臥房を装して其止宿に便し及讀書室、交談室、遊戲室を設くるの外漸次會員の志望に依り兵事課、商法課、音樂課、學事課等の分課を置て益其規模を高大にすへ

第二章 名稱及位置

第二條 當クラブは之を San Francisco Independent Nipponian Club と名稱す

第三條 位置は當分 (追て報告す可し)

第三章 會員の性質及其權利義務

第四條 本會員は品行方正にして當クラブの負擔に耐ふる日本男子外國の籍に在ると否とを問はずに限る

第五條 會員は一切の會議に與かるを得及ひ別に定めたる室内取締規則に違犯せざる限りは何時とりとも隨意に出入し讀書、交談、遊戲共自由とるへ

第六條 會員若し不幸に遭遇するときは別に定めたる救濟方法に依りて相應の救助を受くるを得

第七條 會員當クラブの維持に必要なりと思考する箇條あるときは總會の節之を建議するを得

但し建議案は遅くとも開會前二週間までに庶務係へ差出す可し

第八條 會員は何國人男女を問はず一度に二名以下の朋友を會場に誘引するを得

但し時宜に依り女子の誘引を謝断するとある可し

第九條 會員は場内一切の備附品を使用するとを得

但し取締に告げすして之を場外に持出すを得ず

第十條 會員は當クラブの維持費として毎月初五日迄に米金五十錢を

會計係に納むへし

第十一條 會員中已を得ざる事故なくして會費拂込を怠り屢會計係

の督促を受くるも尙肯んせざるものは之を除名す

第四章 會員進退

紹介所

第十二條 新に會員とらんと欲するものは會員一名以上の紹介を得て

庶務係に申込み特に設けざる帳簿に原籍姓名を自記し會員證を受く

へし

第十三條 退會せんとするものは其理由を庶務係に通知して會員證を

返還すへし

第五章 役員及其職制撰擧法等

第十四條 會員中より左の役員及常議員を撰擧し任期を一ケ年とし毎

年三月一日を交代の期と定む

但し二回以上撰擧するも妨げなく

會頭一名 副會頭一名 庶務係一名 副庶務係一名 會計係一名

副會計係一名 常議員四名

第十五條 會頭は一切の事務を總理し總會の節は前年度に關する當ク

ラブの事歴を報告す可し

第十六條 副會頭は常に會頭を補佐し會頭疾病事故あるときは之を代

理し且會頭任期中死亡又は辭職するときは代て會頭となるへし

第十七條 庶務係は諸務を整理し兼て記録報告を司り時々之を會頭

に通知すへし差支あるときは副庶務係之に代る

第十八條 會計係は金員の出納を司とり毎月一回精算表を作り之を會員に報告し且毎會計年度の末一歳間の精算表を作り會頭の手を経て總會の節之を會員に報告すへし

第十九條 右諸役員は會議の際議席に列なり發言するを得す

但し番外席にありて議員の質問に答ふるは固より其職分とす

第二十條 常議員は毎月第三金曜日を期して通常會を開き本會諸細則の適否を監視して臨時之を改正増減し會頭の認可を経て之を實施せしめ或は會員相互に紛議の生じると認め及び破約者あるときは之を審査裁判す

但し本條諸細則とは通則の外別に定めたるものを云ふ

其他庶務係より通知ありて至急を要する場合には臨時會議を開くへ

新

第二十一條 本會一切の役員及常議員は俸給を與へず

第二十二條 諸役員及常議員の撰擧は諸役員及常議員の見込を以て役員及議員各一名に付き二名以上各其任に耐ふると認むる者を指示し會員の投票を以て其内一名を撰ばしむ但し二人同数の票を得るときは年長を取り同數同年なるときは役員及常議員をして其一を取らしむ

第二十三條 諸役員及常議員は兼役するを得ず

但し分課の役員を兼ねるは此限にあらず

第二十四條 右諸役員の外役員の見込を以て別に室内取締一名を置き室内の箕箒取締をなさしめ相應の手當金を給し無料にて止宿せしむ

第六章 集會等

第二十五條 全會員の集會は一年一回にして毎年二月之を開き前年度の諸務報告を聽き役員を改撰し或は必要の事件を討議す之を總會と名く

但し時日及日數は其都度庶務係より通知す

第二十六條 毎年七月四日即當クラブの創設せる日を記念會と定め又我日本帝國々會開設後は毎年其布告の出たる日を祝日と定め會員一同祝儀を擧ぐへし其他日本の祝日大祭日も應分の祝意を表すへし

#### 第七章 禁約

第二十七條 會員相互に喧嘩口論は勿論賭博に類しると及總て破廉耻不品行のとあるへからす

第二十八條 會場内に於て酒類を飲用すへからす又交談室及臥房を除くの外他の諸室に於て喫煙するを得す

第二十九條 會員中若し紛議の生ずるありて其可否を決する能はざるときは常議員に乞ひて公平の裁判を受くへし而して其裁決に對しては敢て異議を唱ふへからす

第三十條 右三ヶ條に違犯せるものは常議員之を審査し輕きものは説諭に止まり重きものは會頭の意見を聽きて之を除名す

#### 第八章 裁判心得

第三十一條 常議員裁判の節は總て公平無私の心を以てし正理公道に基きて其情狀を斟酌し可成會員の調和を失はざる様注意すへし

第三十二條 常議員三名以上立會の上にあらされは裁判を決するを得す

第三十三條 裁判終結は其都度之を總會員に報告するを要せず且つ裁判事件の用に供しざる書類日誌等は可成秘密に之を保管し公衆に視



するを得ず

但し已を得ざる場合あるときは此限にあらず

第九章 會計法

第三十四條 會計年度は曆に従ふ

第三十五條 會員月々の掛金中五分の一を引去りて之を臨時費とす及び會員或は會員外の者より寄附したる金員も之を臨時費中に算入す

第三十六條 年末又は月末の支拂金に不足を生じるときは臨時費中より之を補ふ

第十章 雜則

第三十七條 本會の爲め大に周旋尽力したる者に限り有功章を附與し其功績を表せしむ

第三十八條 當カリフォルニア州外に在る日本人の(歐米日本而哇支本那朝鮮を問はず)

會の爲に尽力したる者へは有功章を贈與し名譽會員として本會に向ひ建議するの權を有せしむ

第三十九條 有功章は常議員決議の上會頭に請ひ庶務係より之を本人に送達す

第四十條 本規則の實行に關して必要なる諸細則は別に之を定む

但し分課に關する諸規則は其課にて之を草案し常議員の審査決議を経て會頭の許可を受くべし

第四十一條 本通則は會員三分の二以上の同意に因て之を改正増減するを得

俱樂部續則

第一章 救濟の方法

第一條 會員不幸にして死亡し本人の葬送に充つべき遺産なきときは

臨時費中より之を支辨す若し臨時費にて不足したるときは直ちに總會員に報し釀金を以て之を補ふ

第二條 會員病氣の爲に病院に入り若くは入院せざるも實際困乏に差迫りたるときは藥料として臨時費中より一ヶ月金壹弗五十仙土を資給す

第三條 會員病氣にて已を得ず歸國するときは臨時費中より幾分を資給し其旅費を補ふ

但し右資給は臨時費現在高の五分の一以上に超過すへからず

第四條 以上三ヶ條は庶務係之を執行す

#### 第二章 貯金法

第五條 會員中貯金志望の者は毎月其金額を會計係へ差出すへ會計係は之を受取り別に保管して本會の經費と相混雜せしむへからず

但し貯金高は一回貳十五仙土以上は限り當分無利足とせ

第六條 貯金者へは會計係より別に帳簿を與へ會計手元の帳簿と相比照して見易からしむ

第七條 貯金總額百弗以上に達したるときは當府内の最も信用ある銀行へ預置へし

第八條 貯金は歸國轉地退會疾病其他已を得ざる事故あるにあらざれば之を受取とを得ず

第九條 貯金者死亡したるときは死者の親戚其貯金高を受取るとを得第十條 避くへからざるの變事に逢ひて貯金額の紛失したるときは本

會其責に任せず

記者曰く此規則の實行に關する諸細則は別段紙上に掲載する程の必要なきを以て之を略す

桑港より各港への距離及郵船到着日限の事

桑港より横濱迄	四千七百八十五英里	到着日限	十七日
同 上海迄	五千九百七十六英里	同	廿五日
同 香港迄	六千三百九十七英里	同	廿八日
同 新嘉坡迄	七千八百八十二英里	同	廿九日
同 カルカッタ	九千四百七十五英里	同	四十八日
同 マザトラン	千三百十五英里	同	七日
同 アカピユル	千八百六十英里	同	九日
同 パナマ迄	三千四百七十英里	同	十五日
同 ビクトリア	七百五十英里	同	四日三分一
同 スイツツル	迄八百十英里	同	五日
同 ホノル、	迄二千〇九十五英里	同	八日

日米間電信料の事

同 ウェリントン	迄六千七百十英里	同	廿七日
同 メルボルン	迄六千六百八十英里	同	廿八日
同 シドニー	迄七千二百十五英里	同	三十日
サンフランシスコ迄 一語に付 二弗十八仙			
ポストン迄 同 二弗九十五仙			
ニューヨーク迄 同 二弗八十四仙			
シカゴ迄 同 三弗〇一仙六			
ワシントン迄 同 二弗九十九仙四			
フィラデルフィア迄 同 二弗九十九仙四			
モントリール迄 同 二弗九十五仙			

同郵便税の事

合衆國內にては郵便税通常信書十五グラム(一グラムは我か二分六厘六毛二絲)毎に五錢書留手数料は十錢新聞紙雜誌類は五十グラム又は其分數毎に一錢葉書一枚二錢商品見本の類は百グラム迄二錢其以上に登るときは五十グラム毎に一錢なり又商用上の書類は二百五十グラム迄は五錢其以上に登れば五十グラム毎に一錢なり

郵便局はワシントン町とバツタリー町との北西隅にある Custom-house の第一階に在りて事務を取扱ひ居れり

郵便事務時間の事

留置郵便手渡は午前八時より午後七時迄にて日曜日には午後一時より二時迄なり○配達課は午前八時より午後五時迄開き日曜日には午後一時より二時迄開く○切手課は午前八時より午後五時まで○書留課は午前八時より午後五時迄○爲替課は午前九時より午後三時迄○以上の三

課は日曜日には閉局す

書留郵便の書留料は其種類の如何を問はず内外の別なく書狀又は包物一箇に付き十仙宛なり○郵便爲替は一仙以上五十弗以下は何弗なりとも爲替にするを得へし内國爲替料は即ち左の如し

○十五弗以下 十仙 ○十五弗以上卅弗以下 十五仙 ○卅弗以上四十弗以下 廿仙 ○四十弗以上五十弗以下 廿五仙なり

日本及支那等への郵便物は毎月三回汽船にて發送す但し書狀差出時間は午后十二時三十分メ切

來れ日本人終

明治十九年十二月廿八日版權免許  
全二十年二月 護出版

定價五拾錢

編輯人

東京府平民

石田隈治郎

東京府下北豐島郡谷  
中村九十一番地

出版人

鹿兒島縣士族

川上芳途

東京府神田區小川町  
壹番地



發賣元

加藤 鎮吉

東京府神田區表神保  
町二番地

發賣書肆

特別

大賣捌書肆

東京神田區一橋通町七番地 有斐閣  
 全 神田區裏神保町一番地 三省堂  
 全 神田區美土代町四丁目五番地 桃林堂  
 全 神田區錦町一丁目十一番地 十字屋  
 全 神田區小川町十八番地 日進堂  
 全 神田區表神保町二番地 開新堂

東京日本橋區新大阪町十番地 小林喜右衛門  
 全 日本橋區大傳馬町二丁目十六番地 內田芳兵衛  
 全 日本橋區大傳馬町二丁目廿四番地 杉本七百丸  
 全 神田區雉子町 團々社  
 全 神田區淡路町 巖々堂  
 全 日本橋區橋町四丁目 鶴聲社  
 全 日本橋區通リ三丁目 丸屋善七  
 全 京橋區銀座四丁目 博聞社

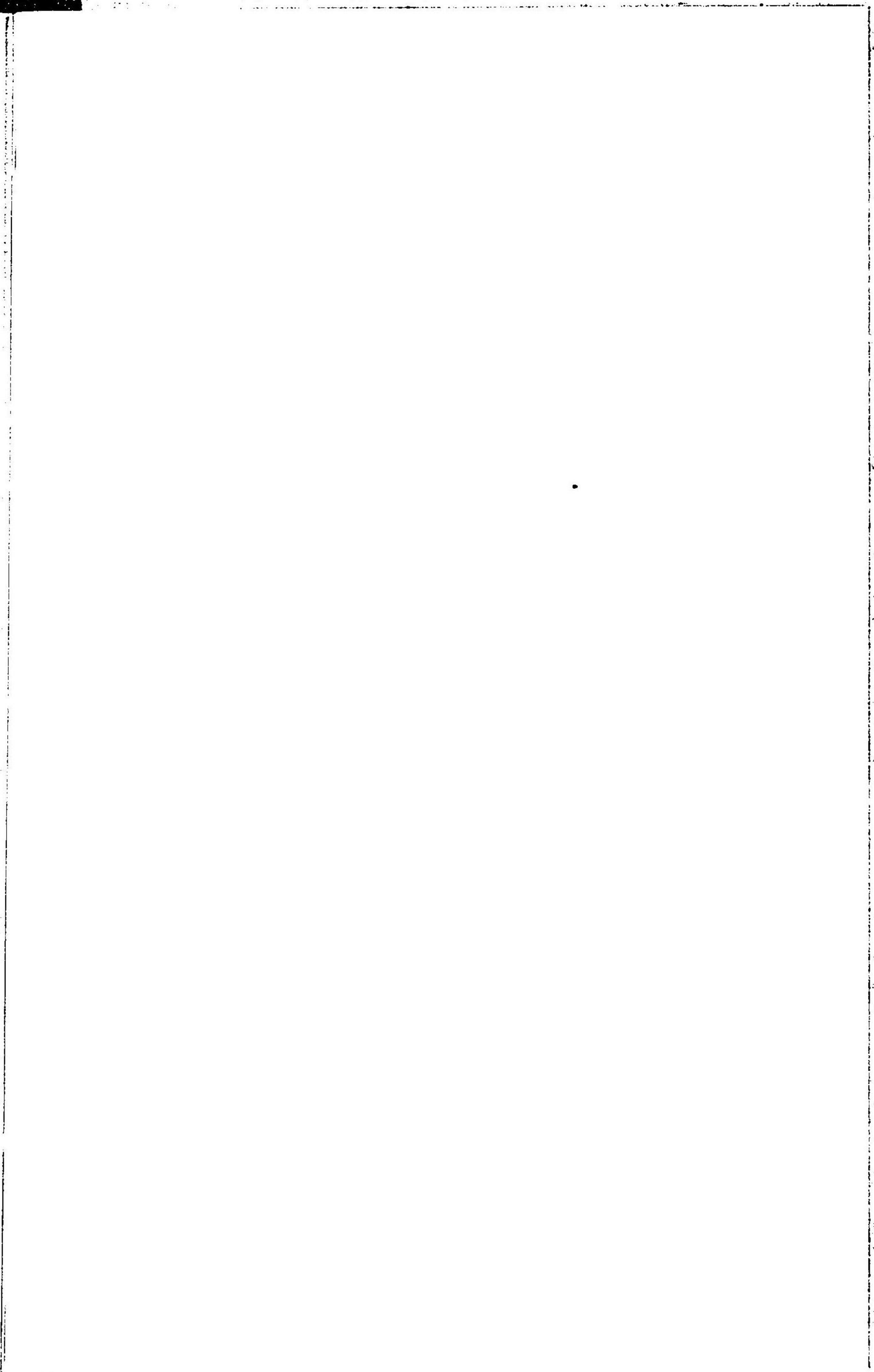
全 日本橋區通リ四丁目 春陽堂  
 全 日本橋區本石町二丁目 覺張榮三郎  
 全 日本橋區蠣殼町二丁目 信文堂  
 西京寺町四條上ル 田中治兵衛  
 全 御幸町姉ヶ小路北 藤井孫兵衛  
 大阪備後町四丁目 吉岡平助  
 全 心齋橋通壹丁目 松村久兵衛  
 宮城縣仙臺國府町 伊勢安右衛門  
 愛知縣名古屋本町 片野藤四郎  
 三重縣伊勢津 淺野藤助  
 靜岡縣江川町 廣瀨市造  
 兵庫縣神戸元町五丁目 船井政太郎  
 長崎縣長崎引地町 鶴野常造

3Q-10

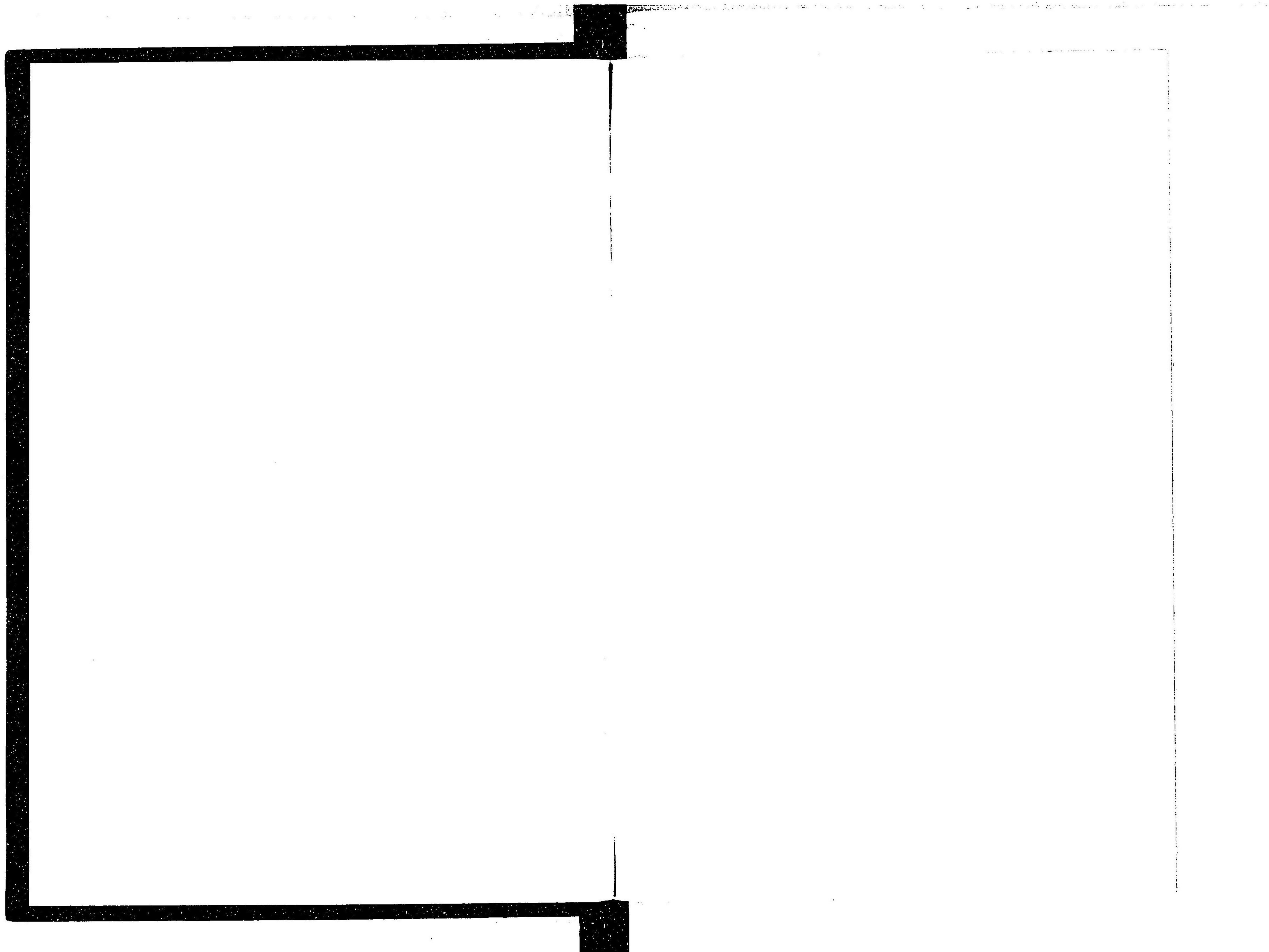
# 各地賣捌所

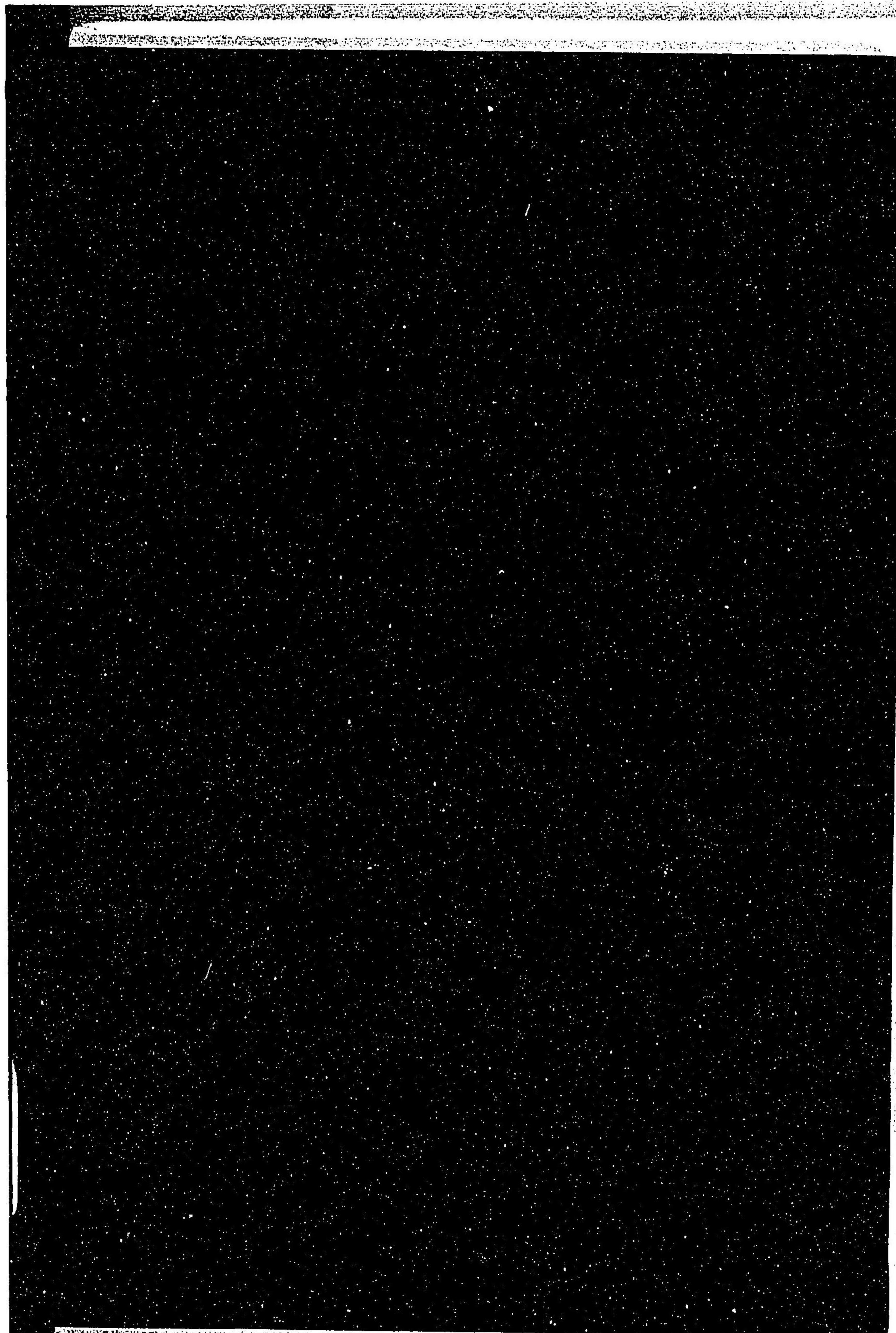
神奈川縣橫濱遊天通り二丁目	吉川伊兵衛	宮城縣鶴ヶ岡	小池藤次郎
全 全 元町二丁目	高橋安五郎	函館末廣町	魁 文 堂
千葉縣千葉	立 眞 社	山梨縣甲府	内藤傳右衛門
全 上總東金	能瀬多左衛門	栃木縣宇津宮相生町	石塚喜一郎
全 下總佐原	好 文 堂	新潟縣高田	本多勝太郎
茨城縣水戸上市泉町	川 又 銀 藏	長野縣長野東町	成田良太郎
全 水海道驛	新 々 堂	全 松本	高見甚左衛門
全 土浦并水戸	柳 旦 堂	群馬縣連雀町	報告堂支店
栃木縣足利	川島平五郎	埼玉縣熊ヶ谷驛	杉浦平右衛門
福島縣福島町	上野屋彦太郎	熊本縣熊本新二丁目	長崎 治 郎
全 會津若松	田 中 善 平	徳島縣徳島中通り町	阪井万吉
山形縣山形	五十嵐太左衛門	佐賀縣佐賀	河内 總 助
青森縣青森大町	松森豊四郎	鹿児島縣六日通り仲町	吉田 幸 平
大分縣大分町	山川庄三郎	山口縣馬關西南部町	立野榮次郎

48  
14









33

267

026892-000-6

33-267

来れ日本人

石田 隅治郎/編

M20

ADG-0009

